

わたしたちのまち 鴨島



鴨島町教育委員会



わたしたちのまち 鴨島



鴨島町教育委員会



西麻植小学校



鴨島小学校



牛島小学校



鴨島町



知恵島小学校



飯尾敷地小学校



森山小学校



上浦小学校

3年生・4年生のみなさんへ

わたしたちのすむ町「鴨島」は、南に四国山地、北に吉野川をのぞみ、
江川・向麻山をもつ美しい自然に恵まれた町です。

東は名西郡石井町、西は麻植郡川島町となりあわせ、徳島県のほぼ
まん中にあります。はやくから文化の開けたところで、わたしたちの祖
先は、この土地を大切に守りそだててきました。自然のようすや人びと
のくらしを学習することによって、その苦勞や努力がいつそうよくわか
ります。

今では、人びとのくらしや仕事の様すもすっかりかわり、すべてが
たいへんべんりになってきました。これからも、人々の努力により、さ
らにゆたかで、いきいきとしたすみよい町になっていくことでしょう。

みなさんは、社会科で自分たちのすむ鴨島の町について、これからい
ろいろと学習します。この本には、みなさんが学習しやすいように、鴨
島のことを資料としてのせてあります。社会科の学習に、しっかりと役
立ててください。

も く じ

町の航空写真

町の絵地図

第3学年

1 わたしたちの鴨島町

- 1 絵地図って何でしょう
- 2 学校のまわりの絵地図づくり
- 3 鴨島町の絵地図づくり

2 ぐらしのはっけん

- 1 まちの公民館
- (1) 鴨島町中央公民館
- (2) 地いきの公民館
- (3) いろいろなしせつ

3 買い物と商店がい

- 1 買い物しらべ
- 2 鴨島駅前商店がい
- 3 国道ぞいの大きな店
- 4 むかしからある商店がい
- 5 商店がいのくふう

4 工場のしごと

- (1) 商工会議所をたずねて
- (2) 商工会議所のしごと
- 1 地図で工場をさがす
- (1) 工場のあるところ
- (2) 工場のうつりかわり
- 2 電子部品工場をたずねて
- (1) 工場の様す

(2) 人工水晶・電子部品の

できるまで

(3) 電子部品のゆくえ

(4) 工場でくふうしていることや

はたらく人のくろう

(5) はたらく人のために

資料 むかしあった製糸工場

5 農家のしごと

- 1 なすのつくられているところ
- (1) なす畑の多いところ
- (2) 鴨島町のなすづくり
- 2 なすづくり農家をたずねて
- (1) 農家のようす
- (2) なすをつくる
農家のよろこびとくろう
- (3) なすのつくり方
- 3 なすづくりとJA(農業協同組合)
- (1) なすのおくり先
- (2) JA(農業協同組合)のしごと

6 町の人たちのくらしのうつりかわり

- 1 むかしの道具しらべ
- (1) 学校にある
むかしをつたえるもの
- (2) むかしの生活
- 2 町でのむかしさがし
- (1) 五九郎まつり
- (2) 堅物堤
- (3) 江川遊園地

| | |
|-------------------------|-------|
| (4) 藤井寺どへんろ道の 道しるべ | 38 |
| 3 町のうつりかわりと人びとの暮らし | 39 |
| (1) 町のようす | 39 |
| (2) ていぼうや鉄道などの けんせつ | 40 |
| (3) 村から町へど 大きくなった鴨島町 | 42 |
| (4) ふえてきた電気せいひん | 43 |
| 資料 歴史年表 | 44 |
| 参考資料 | 46～49 |

第4学年

| | |
|------------------------|----|
| 1 暮らしの中の水とごみ | 51 |
| 1 くらしとごみ | 51 |
| (1) 使っている車の種類と数 | 51 |
| (2) もえないごみのしより | 51 |
| (3) 集めている家の数 | 51 |
| (4) あどをたたない ごみの投げ捨て | 51 |
| (5) 清掃センターのおもなごと | 52 |
| (6) 清掃センターのうつりかわり | 52 |
| (7) 清掃センターで使うお金 | 52 |
| (8) ごみの量(1年間) | 53 |
| (9) ごみの収集日 | 53 |
| (10) これからの問題 | 53 |
| (11) 清掃センターのようす | 54 |
| 2 水はどこから | 55 |
| (1) 水の使われ方 | 55 |
| (2) ふえる水の使用量 | 56 |

| | |
|------------------|----|
| (3) 水はどこから | 57 |
| (4) 町の水道のあゆみ | 58 |
| (5) 使った水のゆくえ | 59 |
| (6) 中央浄化センターについて | 60 |

2 安全なくらし

| | |
|------------------|----|
| 1 火事をふせぐ | 61 |
| (1) 学校の消防しせつ | 61 |
| (2) 地いきの消防しせつ | 64 |
| (3) 消防署の見学 | 66 |
| (4) 消防署からのおねがい | 68 |
| 2 交通事故をふせぐ | 70 |
| (1) わたしたちの町の交通事故 | 70 |
| (2) 警察署のはたらき | 71 |
| (3) 交通事故のない町に | 73 |

3 用水をひく(麻名用水)

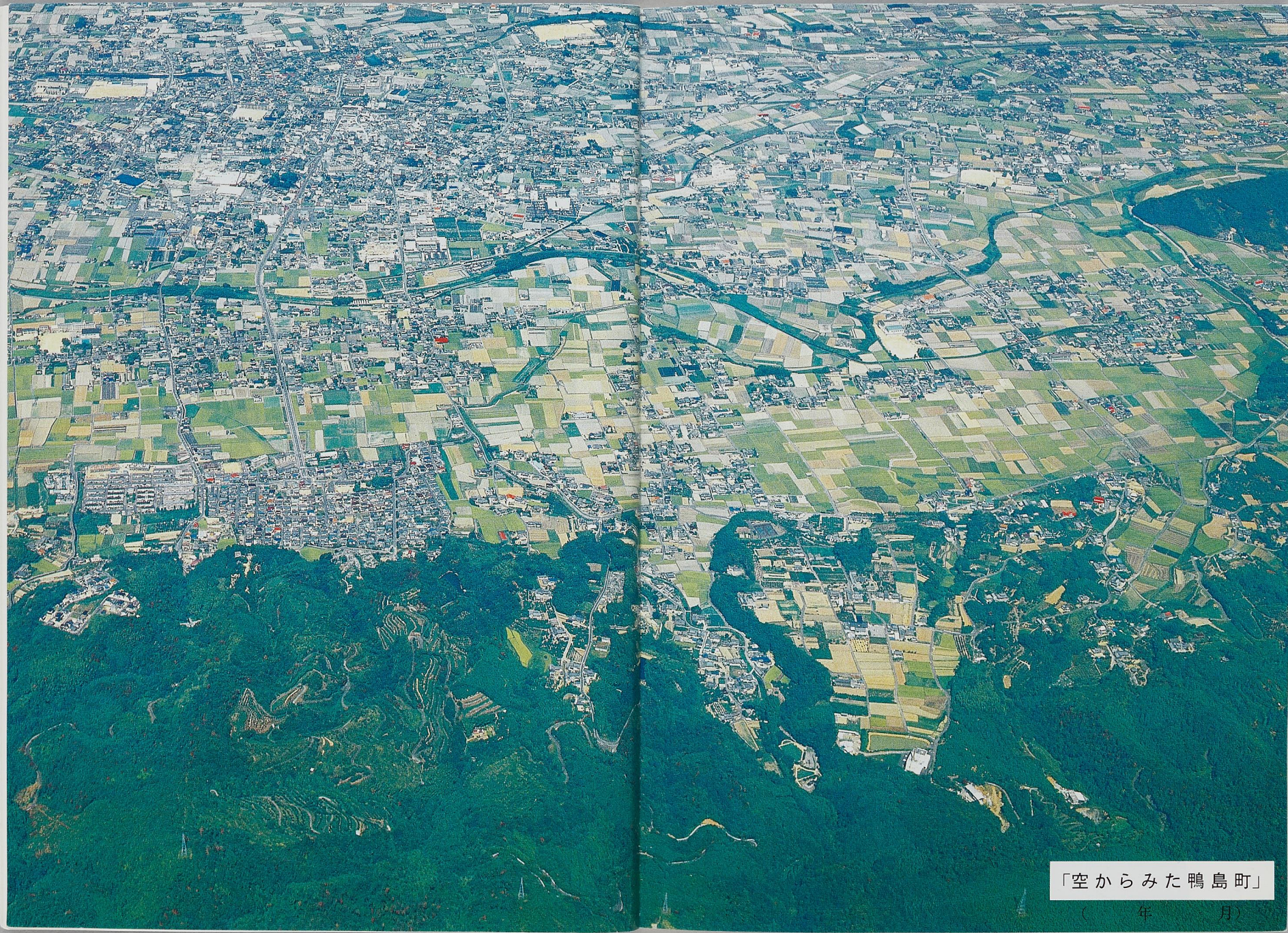
| | |
|----------------------|-------|
| 1 用水ができるまで | 75 |
| (1) むかしの農業 | 75 |
| (2) 用水路づくり | 76 |
| (3) 麻名用水のたんじょう | 77 |
| 2 用水ができて | 78 |
| 資料 用水の流れ | 79 |
| 3 これからの麻名用水 | 80 |
| 資料 麻名用水の 流れているところ | 81～82 |



鴨島町役場



町民ホール



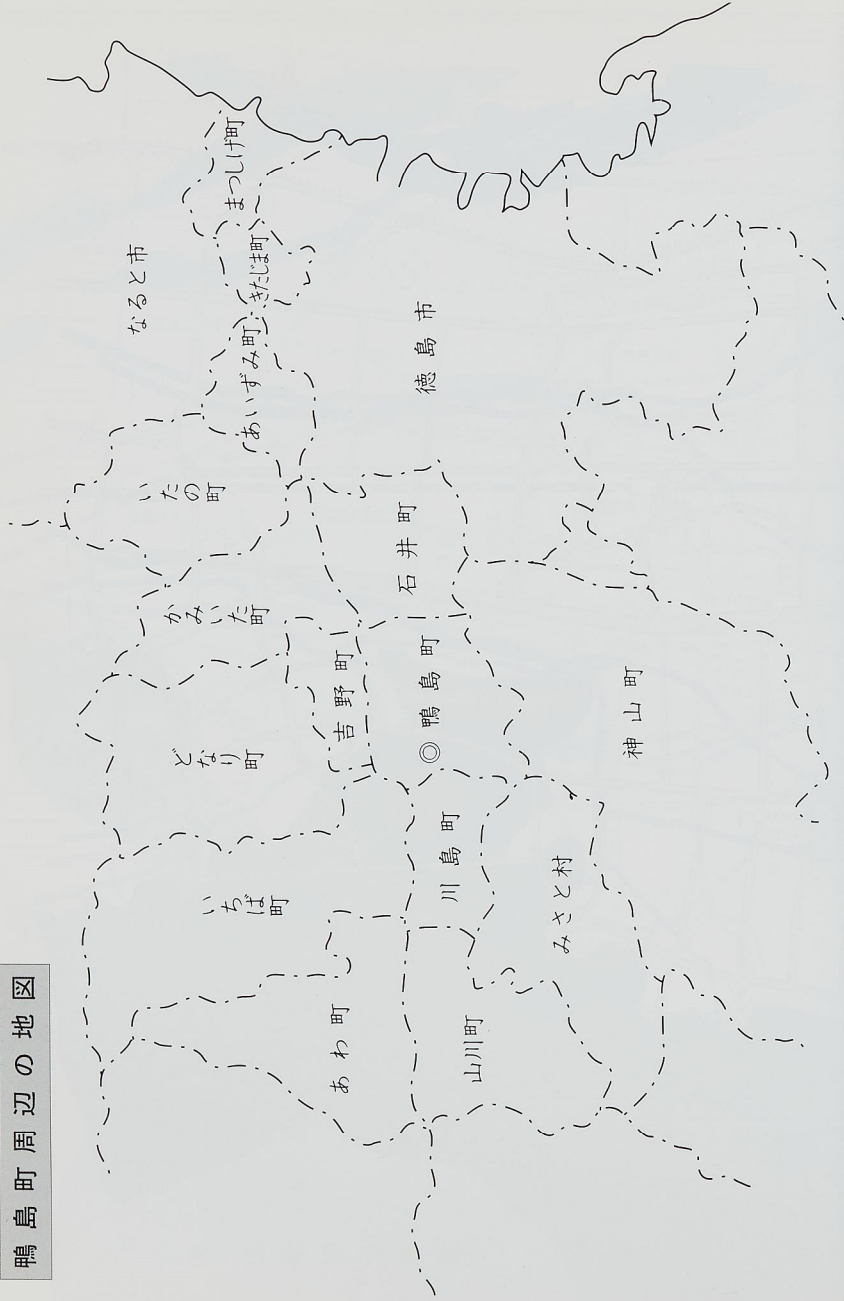
「空からみた鴨島町」

(年 月)



「鴨島町の絵地図」

鴨島町周辺の地図



第 3 学 年

① わたしたちの鴨島町

1 絵地図って何でしょう



おくじょう
屋上からかいた絵



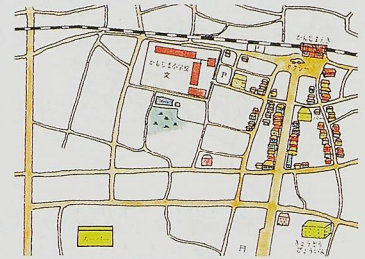
しゃしん
空から見た町の写真



鴨島小学校屋上から北の方を見る

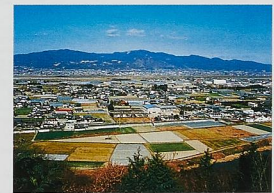


びょういん
鴨島病院屋上から南の方を見る



町の絵地図

高いところから見た町のようす



こうのやま
向麻山から北の方を見る

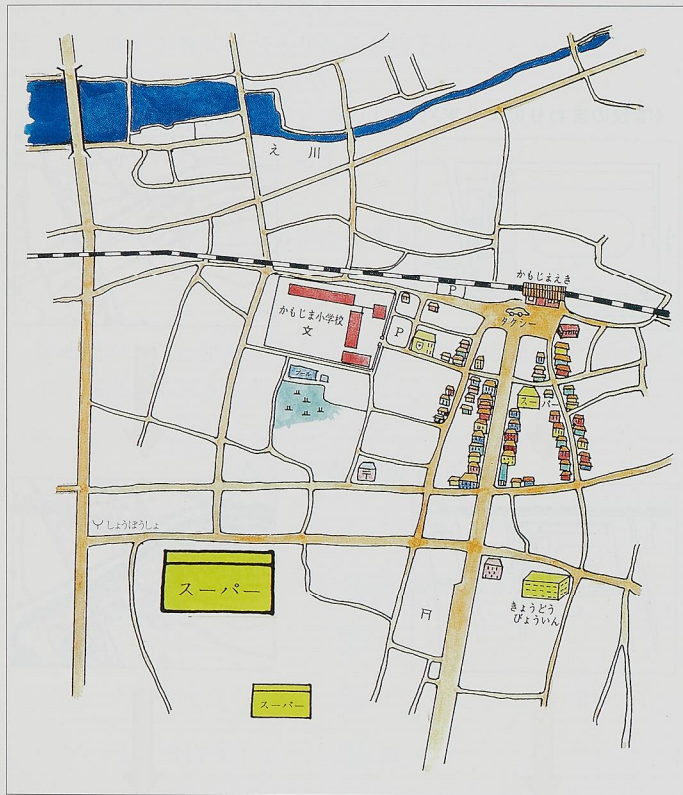


鴨島病院屋上から東の方を見る

学校の屋上からかいた絵や、町の写真と、絵地図を比べてみましょう。

3 鴨島町の絵地図づくり

わたしたちの学校のまわりの絵地図を大きな紙にかいてみましょう。



鴨島小学校のまわりの絵地図をつくっているところだね。知っているところをかき入れてみよう。

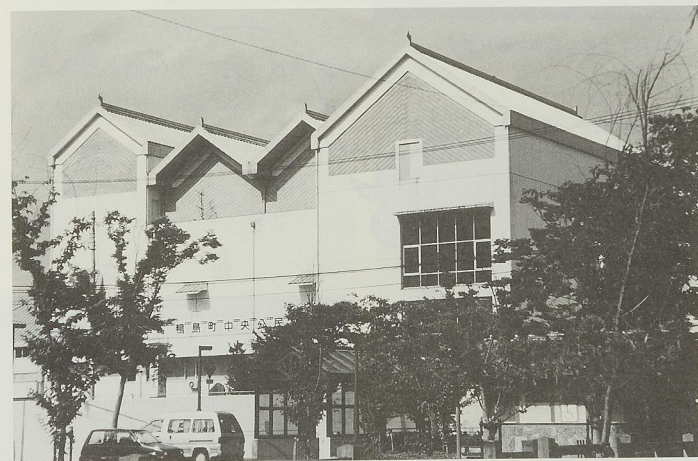
2 暮らしのはっけん

1 まちの公民館

子どもからお年よりの人たちまで気がるに自由に利用できる公民館では、毎日いろいろなよおしものがあり、地いきの人たちのつながりを深め、生きがいある町づくりに役だっています。

(1) 鴨島町中央公民館

中央公民館は、鴨島第一中学校の東どなりにあります。このたて物はむかしさかんであった藍作りの藍を入れておく蔵（藍蔵）の形をまねてつくられたそうです。



中央公民館でえい画を見たことがあるわ。ほかにどんなことをやっているのだろう。

① 中央公民館にあるいろいろなへや

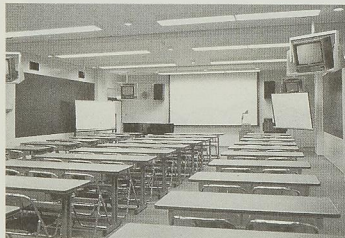
図書室



約1万7千さつの本があります。

公民館には どんなへやや
どうぐがあるのだろう。
しらべてみよう。

視聴覚室



えい画・ビデオ・スライドなどを使って勉強や研究会ができます。

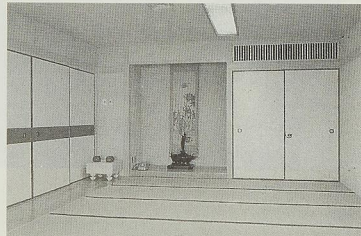
会議室



いろいろなグループが研究や話し合いをするのに使います。

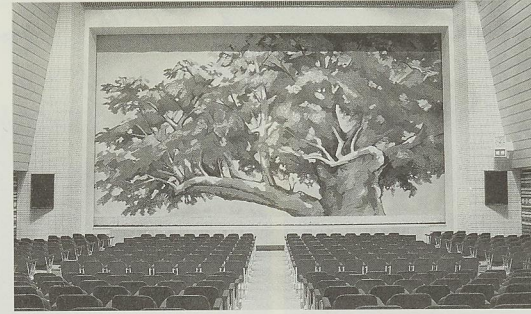


和室



たたみの部屋で子ども会などの行事にも使われます。

大ホール



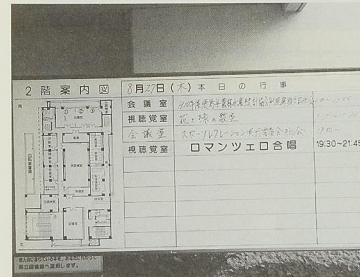
講演会・音楽会・演劇などに使います。744人すわれます。正面のまきは、壇の大きさをデザインしたものです。

② 公民館のもよおしと利用のようす

中央公民館は、子どもからお年よりまでたくさんの人たちに利用され、くらしを楽しくしたり、よくしたりする場として大かつやくをしています。

町の人たちが1年間に公民館を利用した回数

| 年度 | 利用した回数 | 利用した人数 |
|-------|--------|---------|
| 平成7年度 | 1,113回 | 41,569人 |
| 平成8年度 | 1,254回 | 43,385人 |
| 平成9年度 | 1,282回 | 37,801人 |



げんかん入口のあん内板

あん内板を見たら
どこのへやで何を
やっているかがわ
かるんだね。



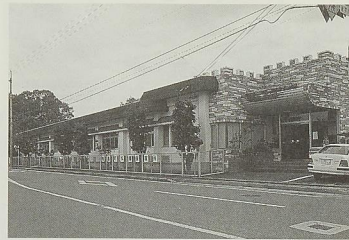
③ いろいろなしせつ

① 保育所

公立の保育所は、町内に4カ所あります。(東保育所・中央保育所・西保育所・呉郷保育所)



保育所は
どんなところ
だろう。



呉郷保育所

② 教育集会所・会館・研修センター

地いきの人たちが集まって、会をしたり、学習をしたり、文化祭などの
もよおしをしています。おたがいを大切にし、心のふれあう明るい町
づくりの場としてつかわれています。



神島会館
神島教育集会所



西麻植会館



文化研修センター



西麻植教育集会所

③ そのほかのしせつ



町民体育館



勤労者体育センター



飯尾敷地コミュニティーセンター



老人福祉センター



児童館



鴨島南児童館



少年の森野外活動センター



向麻山公園

〈近所での買い物〉

近所でどんなものを買うのか、1日に買ったものをまとめて、表にしました。

| 買い物のしゅるい | 数 (○100 ○10 ●1) | |
|----------|------------------------|-----|
| 食べ物・のみ物 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○●● | 382 |
| 本・文ぼう具 | ○○○○○○○○○○●● | 72 |
| 日用品 | ○○○●● | 32 |
| はく物・きる物 | ○●●●●●●●●●● | 19 |
| 電気せい品・家具 | ●●●●● | 5 |
| その他 | ○ | 10 |

1日の買い物のしゅるいと数 (A学級37名)

近所でよく買うものは、

- ① 食べもの・のみものなかま
- ② 本・文ぼう具
- ③ 毎日よくつかうもの (日用品)

で、そのほかのものは、少ないことがわかりました。

2 鴨島駅前商店がい



駅前通り商店がい



銀座商店がい

鴨島町の人たちが、よく買い物をするところはどこでしょう。家の人やみんなと、話し合ってみましょう。

鴨島駅の近くには、銀座通りや、中央通りなど、商店がいが多いことがわかります。

また、最近では、国道192号の両がわにもたくさんの商店ができています。

駅の近くや国道の近くは、いろいろな店がたくさんあつまっているのて、ひつようなものがすぐ手にはいります。

3 国道ぞいの大きな店

国道192号の両がわに、新しく大きな店がたくさんできてきました。食どう、スーパーマーケット、電気店、洋品店、くつ店、銀行などです。



国道ぞいの新しい店

これらの店には、どんなとく色があるでしょうか。買い物に行った時に、よく見ておきましょう。

- ① 新しくできた店が多い。
- ② 広いちゅう車場がある。
- ③ 店の中が広い。
- ④ 同じしゅるいのしなものをたくさん売っている。
- ⑤ 新聞に、おりこみこうこくをよく出す。
- ⑥ 遠くからも車で買いものに来る。



広いちゅう車場



おりこみこうこく

5 商店がいのくふう

(1) 商工会議所をたずねて

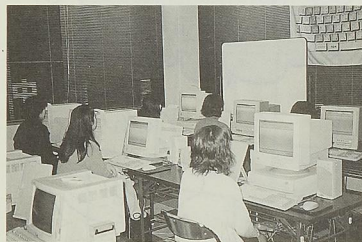
NTTの北側にある商工会議所は、町の店のしごとや工場のしごとにかんけいしている人たちが作ったものです。

店や工場のしごとが、もっともっどさかんになるように、いろいろな計画を話し合っています。

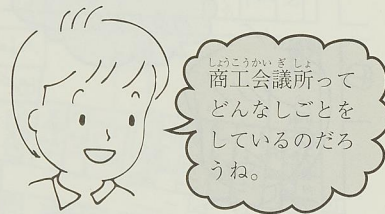
大うり出しのもよおしなど、にぎやかな町になるようどりよくしています。



鴨島商工会議所



ワープロ検定



(2) 商工会議所のしごと

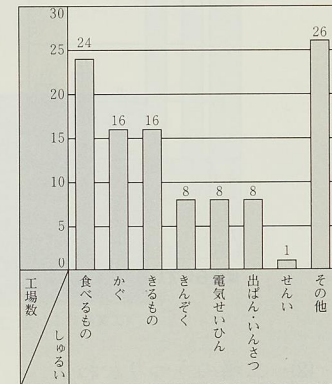
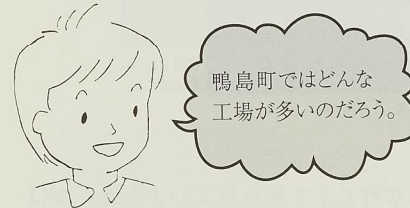
- ① 工場のせつびをよくしたり、よいしなものを作るための勉強会をする。
- ② 店や工場ではたらく人たちの楽しみやけんこうをまもる手だすけをする。
- ③ ちょうばのつけ方や、ぜい金のそうだんをうける。
- ④ そろばん、ワープロ、簿記などの検定試験を行う。
- ⑤ 店を新しくおしたり、しなものをし入れたりするためのお金をかりる手だすけをする。
- ⑥ しなもののならべ方、店のかざりつけなどのそうだんやせわをする。
- ⑦ その他（商業・工業の発てんのためのしごと）

4 工場のしごと

1 地図で工場をさがす

(1) 工場のあるところ

鴨島町内には、1～3人がはたらいている小さな工場も入れると、およそ107の工場があります。町の工場ではたらいっている人の数はみんなでおおよそ1850人です。

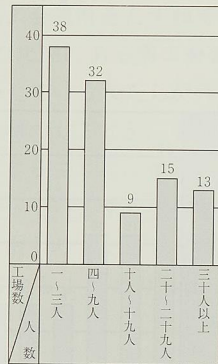


鴨島町の工場数（平成7. 役場しらべ）
（工業統計より）

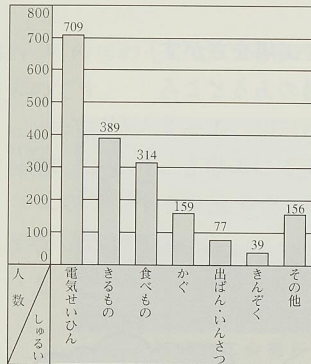
工場のあるところ



町内のおもな工場（平成7. 役場しらべ）



はたらいている人の数と工場数
(平成7. 役場しらべ)
(工業統計より)



町内の工場ではたらく人数(平成7. 役場しらべ)
(工業統計より)

(2) 工場のうつつりかわり

むかし、鴨島町は、製糸のさかんな町として知られていました。今は製糸工場はありません。

新しく「中央工業団地」に3つの工場ができました。この工業団地は、牛島地区の北の方にあり、県と町が力を合わせてつくったものです。ここにできたわけは、広い土地と工場につかう水や電気が手に入れやすく、交通もべんりだからです。

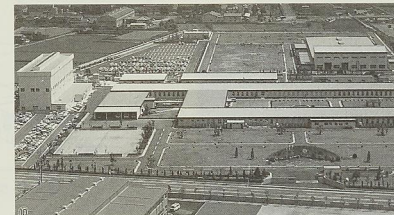


中央工業団地

2 電子部品工場をたずねて

(1) 工場のようす

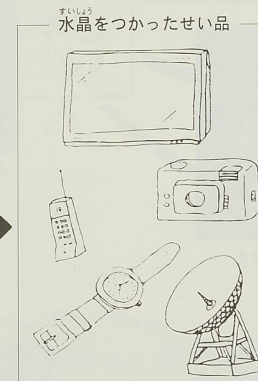
中央工業団地にある電子部品工場をたずねてみました。この工場では天然ではなく人工で水晶をつくり、その水晶をつかって電子部品をつくっています。



空からみた工場



じんこうせいひん
人工水晶

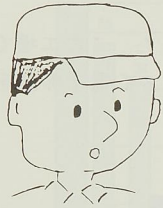


ずいしょう
水晶がつかわれて
いる道具はいっぱ
いあるんだね。

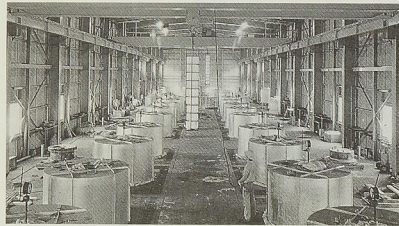


この工場は、昭和59年4月からはじめられ、いま、やく330人の人がはたらいています。はたらいている人は、鴨島町内や麻植郡内だけでなく、徳島市、石井町、板野郡、阿波郡からもきています。自家用車、二りん車できている人がほとんどです。

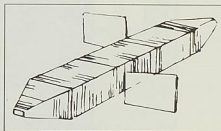
(2) 人工水晶・電子部品のできるまで



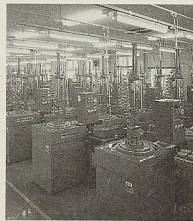
人工水晶のげんりょうは石英^{せきえい}という石です。この石は、ブラジルから船で送られてきます。



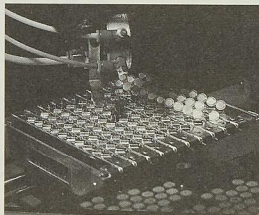
① げんりょうに強い力をかけて、人工水晶をつくる



でき上がった人工水晶



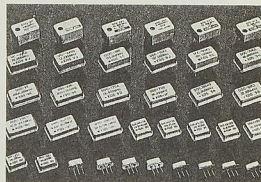
② 人工水晶のかどをまるくして、ひょうめんをみがく。



③ 部品とくみあわせる



④ きかいでけんさする



⑤ 電子部品

(3) 電子部品のゆくえ

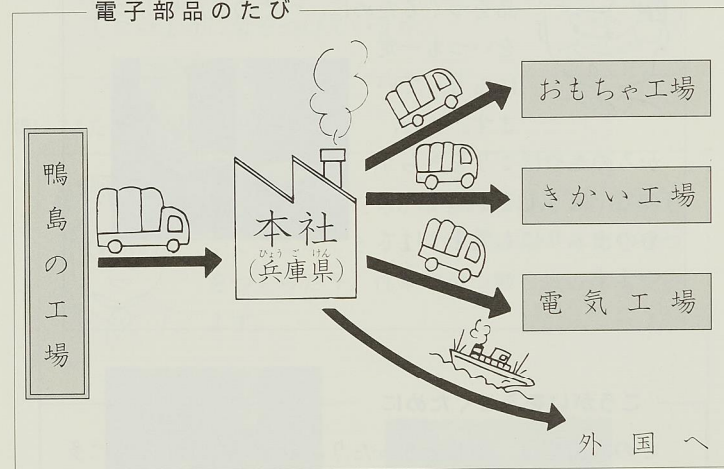


できた電子部品は、どこへ運ばれるのかしら。

できた部品は、はこに入れ、まず本社(兵庫県)へおくります。



電子部品のたび



鴨島の工場のできた部品がおくまではこぼれているんだね。びっくりしたよ。



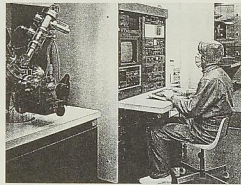
(4) 工場でくふうしていることやはたらく人のくろう



工場でくふうしていることは、
どんなことですか。



とてもこまかく、くるいのない電子部
品をつくるために、へやの温度やしつ度
をいつも一定
にたもってい
ます。また、
かみの毛やほこりをきらう
ので、ぼうしをかぶり、へ
やの出入りにも気をつけて
います。



こうがいをふせぐために

この工場では、水晶をきったり、みがいたりする時に多
くの水を使うので、使った水をき
れいにするしせつがあります。い
つも3人のかかりの人が、水をき
れいにするためにはたらいていま
す。



はたらく人たちが気をつけ
ていることは何ですか。

水晶の板がこまかいものなので、とても
気をつかいます。
部品のしゅるいが多いので、まちがいを
しないように気をつけています。



(5) はたらく人のために



はたらく人たちが安全に、けんこうで楽し
くしごとができるように、いろいろなしせつ
をつくったり、行事^{まつり}やかつ動をおこなってい
ます。



テニス

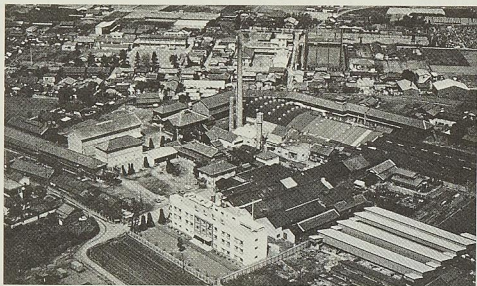


いけ
生 ばな
花

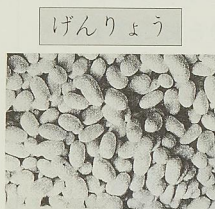
資料 むかしあった製糸工場

鴨島町は、明治の終わりから昭和のはじめまで、とくに製糸がさかんでした。町内にも20あまりの工場があり、町のすみずみにまで糸をつくるきかいの音がひびいたそうです。

しかし、時代のうつりかわりによって、だんだん少なくなって、どうとう1つのこっていた工場も昭和61年5月末から製糸とはちがった工場になりました。



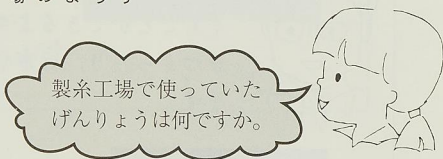
工場のようす



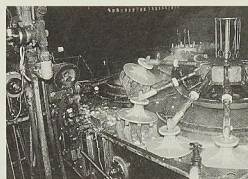
まゆ



生糸



生糸ができるまで



① まゆをたく



② まゆから糸を取り出す



④ もつれないように止める



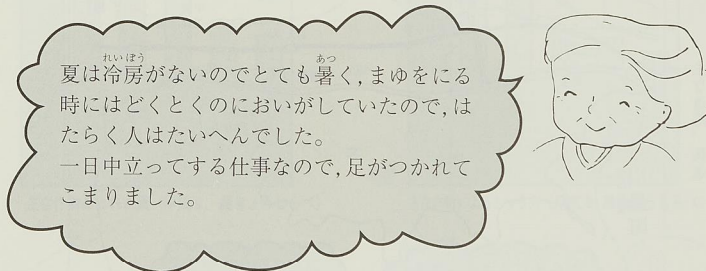
③ 太いわくに糸をまきかえる



⑤ よってたばにする



⑥ 生糸のできあがり



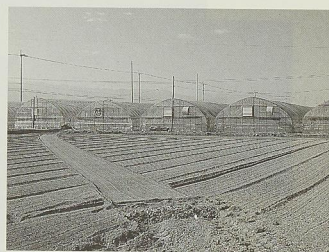
5 農家のしごと

1 なすのつくられているところ

(1) なす畑の多いところ

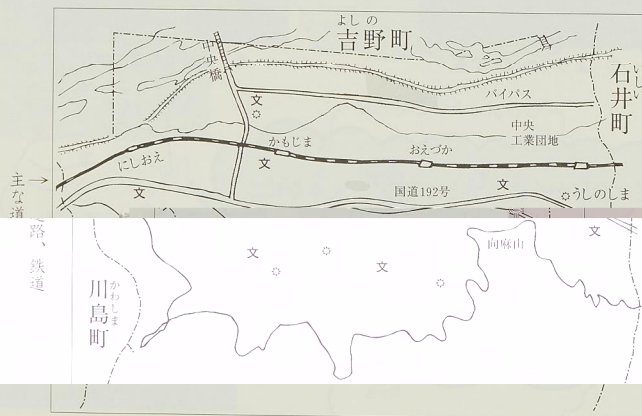
わたしたちの町は、むかしから野菜づくりがさかんでした。そのわけは、気候があたたかく、土地が平地で、よく肥えているからです。また、農家の人も野菜づくりに力を入れてきました。

なすづくりは、昭和35年ごろからさかんになりました。それは、大型ビニールハウスが使われはじめたからです。ビニールハウスとボイラーたんぼうを使うと、夏の野菜であるなすを、冬から春にかけて、収かぐができ、高い値段で売ることがができます。



ビニールハウスのようす

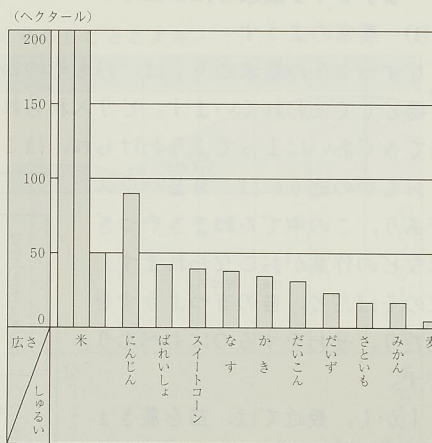
農きょうでは、土地や気候に合った作物で、収入のよいなすづくりを農家の人にすすめています。



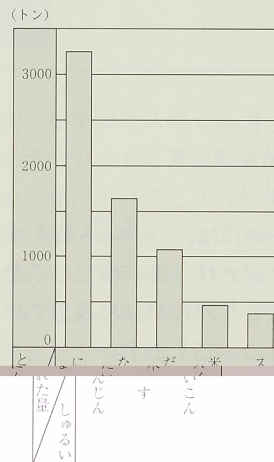
なす畑の多いところ (平成9. 農きょうしらべ)

(2) 鴨島町のなすづくり
町の農家でつくっている作物のおもなものは、つぎのグラフのとおりです。なすは、広さでは5ばんめになっていますが、とれた量は2ばんめ、収入では1ばんめになっています。

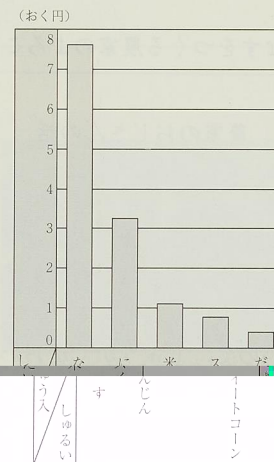
徳島県のビニールハウスによるなすの広さは35ヘクタールで、そのうちの20ヘクタールを鴨島町でつくっています。



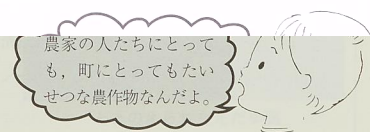
主な作物をつくっている田や畑の広さ (平成9. 農きょうしらべ)



主な作物のとれた量 (平成9. 農きょうしらべ)



主な作物によるしゅう入 (平成9. 農きょうしらべ)



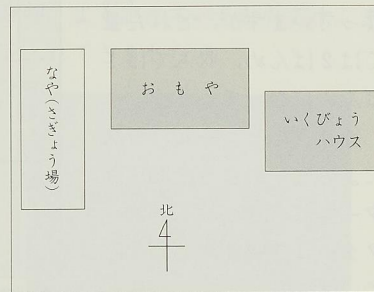
2 なすづくり農家をたずねて

(1) 農家のようす

なすづくりの農家の多くは、おもやの西がわになやがあり、ここが^き作業場として使われています。とり入れられたなすは、ここで大ききなどのできぐあいによってよりわけられ、はこにつめられます。

おもやの近くには、^{いくひょう}育苗ハウスがあり、この中でたねまきやつぎ木などの作業がおこなわれます。家のそばだと、^{なえ}苗の^{そだ}育つようすを見たり、せわをするのにもべんりです。

しかし、最近では、苗を農きょうで買うようにかわってきています。



なすづくりの農家

(2) なすをつくる農家のよろこびとくろう

農家のおじさんの話



なすが大きく育ち、よい実をつけるためには、いろいろ気をつかいます。でも、くろうして、よいなすがとれ、高いねだんで売れたときはうれしいです。たねまきからとり入れがおわるまでが長いので、しゅうかくがおわったときはほっとします。

しんぱいなことは、自分が年をとり、あとをついでくれる人がいないので、これいじょうなす畑をつくるのに力が出せないことです。また、なすづくりにひつようなぎいりょうやひりょうなどのねだんがあがるのに、なすのねだんが高くなること。それに同じ畑でなすを何度も続けてつくと、びょう^{ちゅう}気やがい虫が出やすくなり、とれる量がへります。

(3) なすのつくり方

なすづくりのしごとごよみ

| 月 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
|---|---|--|---|---|--|---|---|--|--|---|---|---|--|
| 収 ^{かく} く ^く の ^す | | | | | | | | | | | | | |
| そ ^だ つ ^つ よう ^す | め ^め が ^が 出 ^で る | 本 ^{ほん} 葉 ^は 2 ² 〜3 ³ ま ^ま い | 本 ^{ほん} 葉 ^は 4 ⁴ 〜5 ⁵ ま ^ま い | 花 ^{はな} が ^が さ ^さ く | 収 ^{かく} く ^く は ^は じ ^じ まる | | | | | | | 収 ^{かく} く ^く が ^が お ^お わ ^わ る | |
| し ^し ご ^ご と | 土 ^{つち} の ^の し ^し よう ^{よう} ど ^ど く | た ^た ね ^ね ま ^ま き ^き 、ま ^ま び ^び き | い ^い し ^し よ ^よ く ^く 、も ^も と ^と こ ^こ え | つ ^つ ぎ ^ぎ 木 ^き | う ^う え ^え つ ^つ け ^け 、し ^し よう ^{よう} | ど ^ど く ^く を ^を す ^す る | 二 ^に 重 ^{じゅう} の ^の ハ ^ハ ウス ^{ウス} に ^に す | ハ ^ハ ウス ^{ウス} を ^を あ ^あ た ^た め ^め る ^る | ひ ^ひ り ^り よ ^よ う ^{よう} を ^を や ^や る | " | " | " | あ ^あ と ^と か ^か た ^た つ ^つ け |

(4) なすづくりのくふう

なすはもともと夏の野菜なので、秋から春にかけてとり入れするためには、高い^{おん}温度^どがひつようです。そのために、^{じゅう}重油^ゆボイラーをたいてハウス内をあたためたり、ハウス内の^に温度^{じょう}をたもつため、ビニールを二重にしています。また、じゅうぶん^{たい}な^{よう}太陽^{たい}の光もいるので、すべての^は葉^はに光があたるように枝を^{えだ}とどの^きえたり、いらぬ枝や葉を切っています。



二重のビニールハウスとボイラー

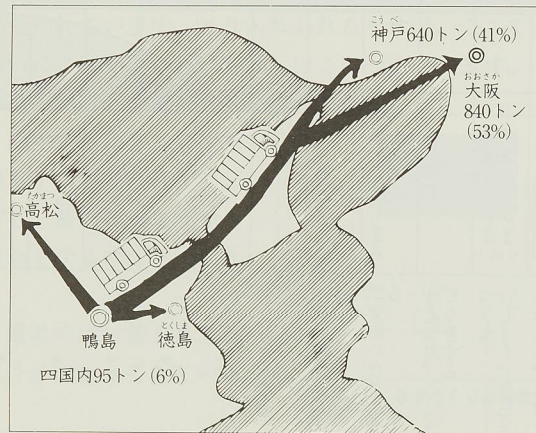


ととのえられたえだや葉

3 なすづくりとJA（農業協同組合）

(1) なすのおくり先

JAからおくられている市場



なすのゆくえ (平成9. JAのしらべ)

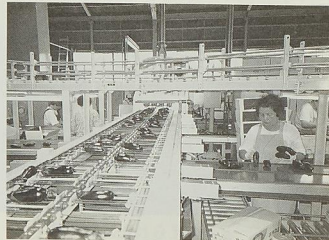
農家からはこぼれたなす



すばやく
しんせんうちに
おくられるんだね。

とり入れられたなすは、JAにはこぼれます。きかいで選別をして、2キログラム入りの出荷用ダンボールばこにつめこまれ、その日のうちに市場におくられます。

きかいで選別をする



出荷をまつ



(2) JA（農業協同組合）のしごと

JA鴨島は、なすなどの野菜の出荷のほかにも、米やむぎ、くだもの、らく農などについても、いろいろなしごとをして、組合員のためにつくしています。

JAのしごと



JA鴨島は、鴨島地区に本所があり、町内に5か所の支所をおいています。東部支所には、大型の予冷しせつがあり、新せんな野菜を出荷することができます。

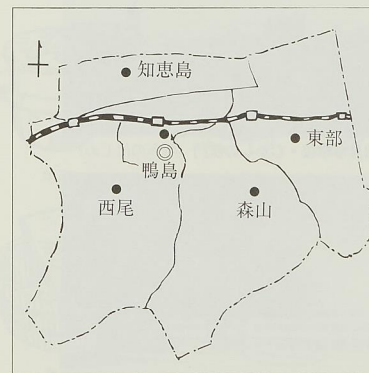
JA 鴨島本所



とくによく出荷しているもの

- 本所…米、なす
- 知恵島…しょうが、どうもろこし、白うり
- 鴨島…なす
- 森山…はっさく、なす、麦
- 西尾…かき
- 東部…しいたけ、ほうれん草、かぶら、野ざわな

JA 鴨島の本所と支所



6 町の人たちのくらしのうつりかわり

1 むかしの道具しらべ

(1) 学校にあるむかしをつたえるもの



森山小学校・かけ時計(昭和四年)



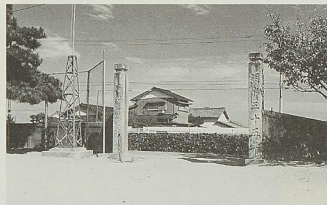
牛島小学校・揚柳(八十年くらい前)



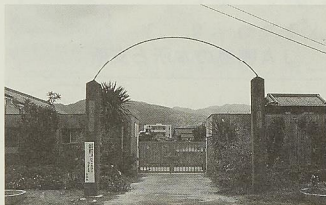
ほかにもない
かしらべてみ
よう。



上浦小学校・学校ができてから百年の記念ひ(昭和60年)



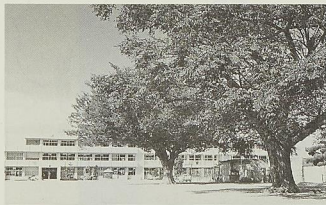
西麻植小学校・むかしの校門(明治35年)



鴨島小学校・むかしの校門(昭和のはじめ)



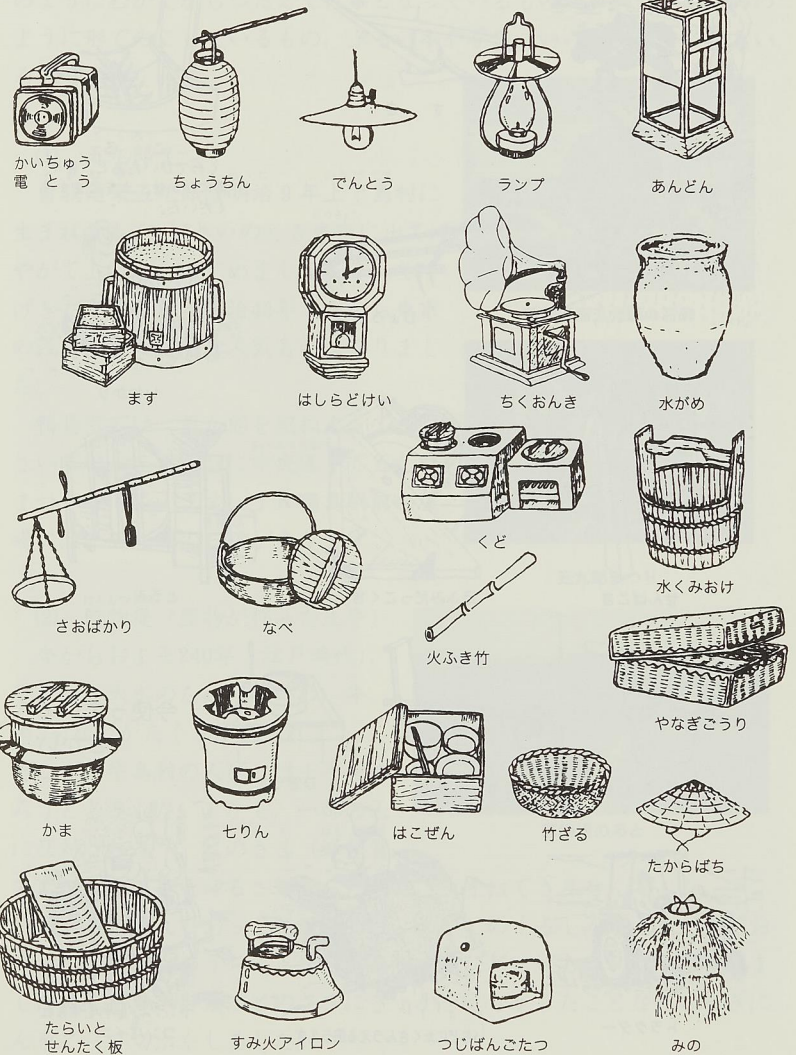
知恵島小学校・くすの木(明治45年)



飯尾敷地小学校・せんだんとけやきの木(明治の末)

(2) むかしの生活

家のくらしで使った古い道具



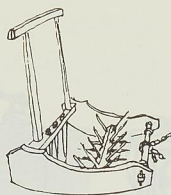
米や麦づくりの古い道具



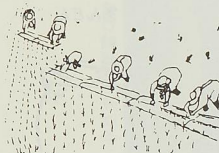
たがやす



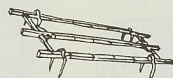
すき



こる
くわでひいたあと、牛や馬にひかせ、土をこまかくください。



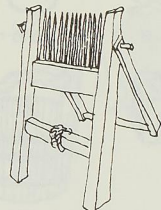
田うえ



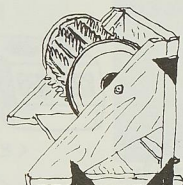
じょうぎ



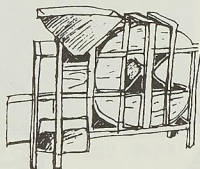
いねかり



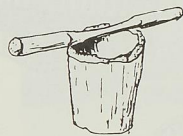
せんばこぎ



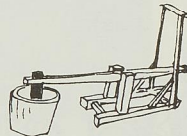
足ふみだっこぎ



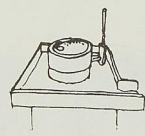
とうみ



うすときね



からうす

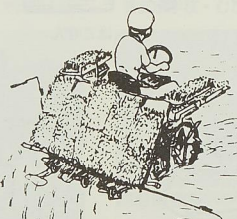


ひきうす

今使っている
きかい



トラクター



いちどにたくさんうる田うえき



コンバイン

2 町でのむかしさがし

町には、むかしのようすをつたえるものがたくさんあります。まつりのようにむかしからつたえて行事となっているもの、石碑やたてもののよう形でのこっているもの、ふるい本や写真、いいたえなどいろいろあります。

(1) 五九郎まつり

曾我廼家五九郎は明治9年上下島村に生まれました。14さいのとき東京に出て、やがてしばいをはじめました。そして、げきだんを作り、明治43年ごろから東京の浅草でたいへんな人気ものになりました。

鴨島町では、五九郎を記ねんして6月さいごの土・日曜日に中央通りで五九郎まつりをしています。JR鴨島駅前の広場には、五九郎の石碑があります。



曾我廼家五九郎の石碑



五九郎まつり

(2) 監物堤 (監物が作った土手)

今からおよそ240年(江戸時代)、牛島村は大水のために、いね、牛、馬、家などがたくさん流されました。そこで、牛島村の人びとは土手を作ろうとしました。しかし、一部の人に反対されたり、どのさま(蜂須賀公)がこの工事をゆるさなかったため、土手はできませんでした。

牛島村の役人であった稲垣監物は、人びどのくるしみをみすごしておかず、ひとばんのうちに土手を牛島村の人びととともにかんせいさせました。そして、自分はどのさまにきよかをえなかったことなどのせきんをとって切ぶくしました。



監物堤のあと

このようにしてできたのが監物堤で、牛島の桑上に監物をしたって稲垣神社がたてられています。

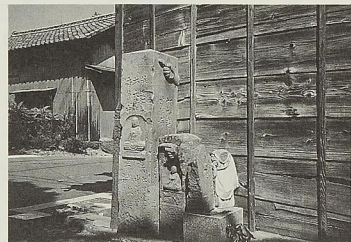
(3) 江川遊園地（今の吉野川遊園地）と江川のわき水

江川遊園地は昭和6年（今からおよそ70年前）にでき、町民のいこいの場として親しまれてきました。昭和44年には、いろいろな遊具をそなえた吉野川遊園地となり、現在も県内各地からたくさんのおどずれしています。

遊園地の西側にわき水があります。ここに出る水は、とてもすみきっており、その温度にもふしぎなものがあります。わき出る水の温度は、夏は冷たく10度くらいに、冬は反たいに20度くらいに上がり、とてもめずらしいので、昭和29年（今からおよそ40年前）県の天然記念物になりました。また、昭和60年には国の環境庁によって名水百選（全国から選ばれた百の有名な水）の一つに選ばれています。



江川のわき水



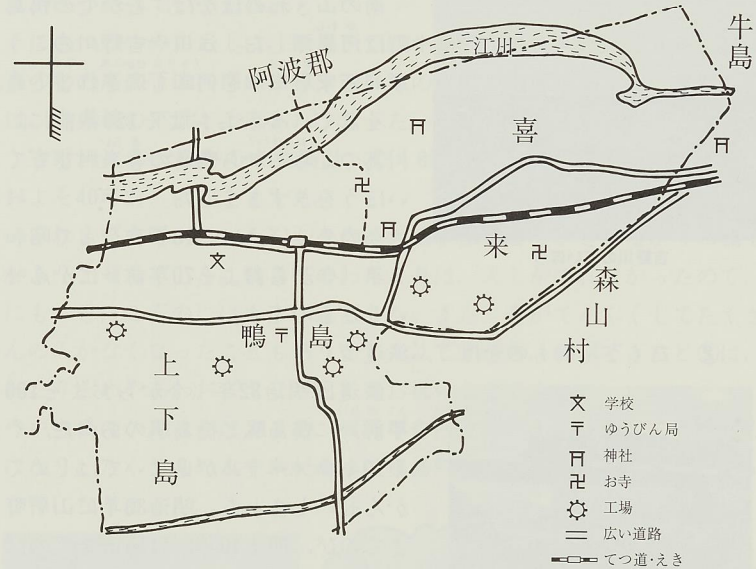
へんろ道の道しるべ

(4) 藤井寺とへんろ道の道しるべ

四国霊場八十八か所まわりは、江戸時代の中ごろ（200～300年ほど前）からはじまりました。飯尾にある藤井寺は第11番札所です。阿波郡市場町にある10番札所の切幡寺から藤井寺への道は、八十八か所まわりのおへんろさんがよくとおる道です。この道にはおへんろさんにわかりやすいように藤井寺への道しるべがたてられています。この道しるべには、たてた人の名やたてた年や月、日などがぎざまれています。

3 町のうつりかわりと人びとのくらし

(1) 町のようす（今からおよそ70年前の地図）



昭和5年頃の鴨島

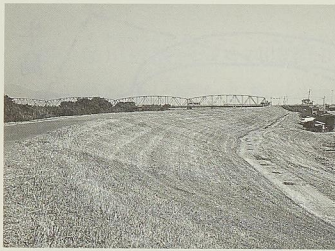
上の古い地図と、カラーページの「鴨島町の絵地図」をくらべてみましょう。



鴨島駅前のむかしと今

(2) ていぼうや鉄道などのけんせつ

① こうずいをふせぐていぼうづくり



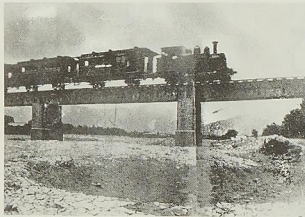
吉野川のていぼう

南の山ぎわのほかは、むかしの鴨島町は河原でした。江川や吉野川のこうずいで家や田畑を何回も流されました。

それで、今からおよそ120年前に、川島のしろ山から鴨島の喜来村までていぼうをきずきました。

今のていぼうは、15年かかって昭和2年（今からおよそ70年前）にかんせいしたものです。

② たくさんのものをこぶ鉄道づくり

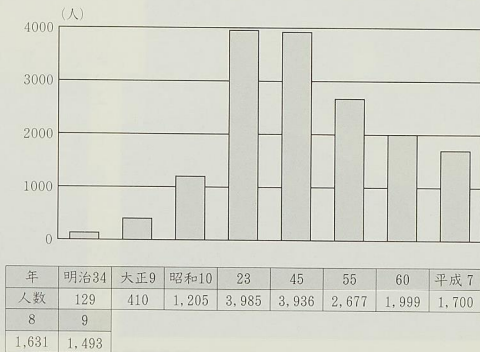


鉄道ができたころのれっ車

鉄道は明治32年（今からおよそ100年前）に鴨島駅と徳島駅のあいだ、やく19キロメートルが渠ないではじめてかんせいしました。明治33年に山川町までのび、明治40年には池田までのびされました。

鉄道ができて、人やにもつを一度にたくさんはこぶことができたので、とてもはやくはこべるようになりました。

なぜあまりのらなくなってきたのかな。



鴨島駅で1日にのる人数（1日平均）（JR鴨島駅しらべ）

③ 大水にながされない橋づくり

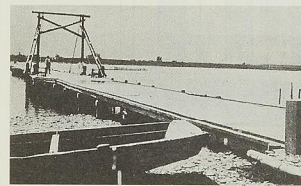
鉄道ができるまでは、にもつをたくさんはこぶのに吉野川や江川、飯尾川をつかっていました。

にもつのつみおろしは、飯尾川では牛島の市瀬橋あたり、江川では牛島の杉の庵の下流の関の大樟や西麻植の吉野川遊園地あたり、吉野川では、中央橋の下流、上流あたりでした。

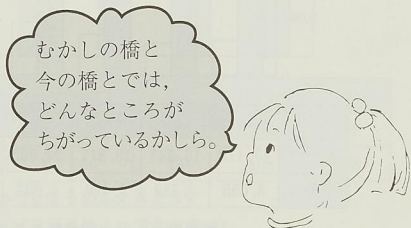
吉野川にかかる今の中央橋は、やく820メートルで昭和28年（今からおよそ40年前）にできました。

それまで吉野川は、わたし舟や、大雨がふるとながされるかりの橋しかありませんでした。鴨島町のわたし舟は、人しかのれなかったので、にもつをはこぶのには、ふべんでした。また、舟がてんぶくしてたくさんの人がなくなったこともありました。ですから、橋ができたときは、わたりぞめやあわおどりなどをしてお祝いしました。

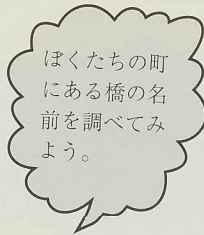
中央橋のかんせいによって、板野郡や阿波郡への交通がとてもべんりになり、たくさんの人や車が通って鴨島町へ来たため、鴨島はにぎやかな町になりました。



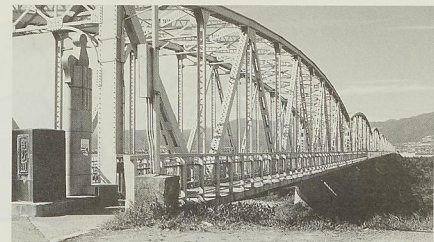
昭和3年のころの中央橋



むかしの橋と今の橋とでは、どんなところがちがっているかしら。



ぼくたちの町にある橋の名前を調べてみよう。

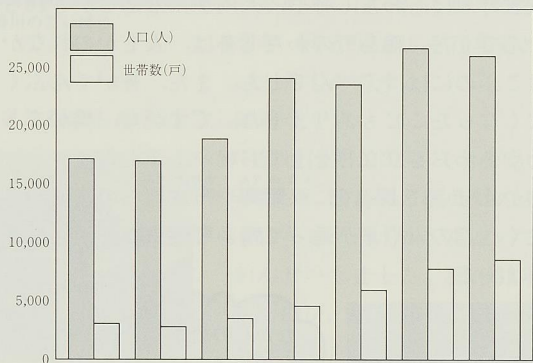


今の中央橋

(3) 村から町へと大きくなった鴨島

鴨島町は昭和29年3月31日（今からおよそ40年前）に牛島村、森山村、西尾村といっしょになりました。東山村、大字、樋山路とは昭和30年1月1日にいっしょになりました。阿波郡柿島村、大字、知恵島といっしょになったのは昭和32年3月31日です。

鴨島町は、学校のせつびをよくしたり、公民館や体育館、公園、下水道、温泉などをつくったりして、「くらしで楽しい、訪ねてうれしいと きめきかもじま」をめざしています。



| 年 | 明治25 | 45 | 昭和5 | 25 | 45 | 平成2 | 10 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人口 | 17,110 | 16,943 | 18,817 | 24,065 | 23,537 | 26,629 | 25,980 |
| 世帯数 | 3,055 | 2,789 | 3,499 | 4,567 | 5,942 | 7,754 | 8,520 |

鴨島町の人口や世帯数のふえるようす
(牛島村、森山村、西尾村、鴨島村をたしたもの：町役場調べ)

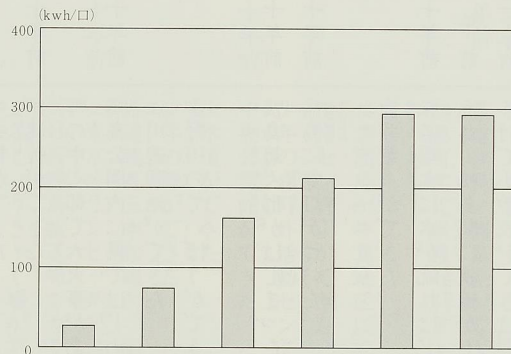


人や家の数は、だんだんふえているのかしら。

(4) ふえてきた電気せいひん

はじめて日本で電とうがしたのは、明治11年（今からおよそ120年前）東京でした。鴨島に電とうがしたのは、およそ80年前の大正7年でした。電とうがなかったころは、なたねのあぶらやろうそくでしかあかりをとれませんでした。

今では、電とうのほかには、テレビやせんたくき、電子レンジ・コンピュータなどの電気せいひんがたくさん使われるようになり、生かつもかいてきてべんりになりました。



| 年 | 昭和30年 | 40 | 50 | 60 | 平成7年 | 9 |
|--------------|-------|----|-----|-----|------|-----|
| 月原単位 (kwh/口) | 27 | 74 | 162 | 212 | 293 | 292 |
| 30年を10とすると | 10 | 27 | 60 | 79 | 108 | 108 |

電気をつかうりょうのふえるようす
(四国地区電灯計月原単位：四国電力調べ)

ぼくの家では、電気をつかうものはどのくらいあるんだろう。それに電気はどんなにしてつくっているのかもしらべてみたいな。



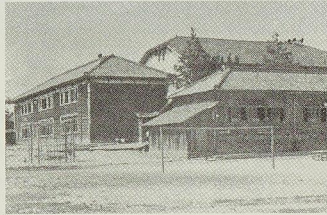
だれもつかっていない電気は消そうね。

資料
歴史年表

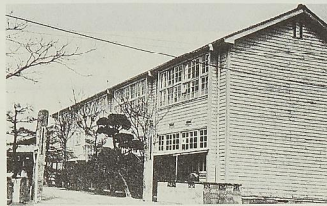
| 西暦 | 1874 | 1918 | | 1927 | | | | 1957 |
|---------|--------------------------------|--|--|-----------------------------|---|-----------------------------------|-------|------|
| 年号 | 明治 | 大正 | 昭和 | 昭和 | | | | 昭和 |
| 年 | 七年 三十二年 四十一年 四十三年 | 七年 十二年 | 二年 六年 八年 二十二年 | 二十六年 | 二十八年 | 二十九年 | 三十二年 | |
| 今から何年前 | ●百二十年前 ●百年前 ●九十年前 | ●八十年前 ●七十年前 | ●六十年前 | ●五十年前 | | | ●四十年前 | |
| おもなできごと | 徳島ー鴨島間に鉄道がしかれた。 各村で小学校ができた。 | 筒井製糸ができた。 麻名用水に水が流れはじめた。 鴨島ー鴨島間に鉄道がしかれた。 鴨島に電灯がついた。 | 吉野川のていぼうができた。 江川遊園地ができた。 鴨島公園内に県ではじめてのプールができた。 | 町の中心部で大火事があった。 鴨島新橋ができた。 | 牛島村、森山村、西尾村、旧鴨島町が一つとなり、鴨島町となった。 中央橋ができた。 保健所ができた。 | 阿波郡柿島村大字知恵島が鴨島町になった。 鴨島新橋ができた。 | | |

| 1958 | 1975 | | | 1989 | | 1998 | |
|---------|---|--|---|------------------------|--|---|--|
| 昭和 | 昭和 | 昭和 | 平成 | 平成 | 平成 | 平成 | |
| 年 | 三十三年 | 三十八年 | 三十九年 | 四十四年 | 五十年 | 五十八年 | |
| 今から何年前 | | ●三十年前 | ●二十年前 | | ●十年前 | ●今 | |
| おもなできごと | 町内有線放送がはじまった。 国道一九二号ができた。 NHK徳島放送局のテレビ放送(白黒)がはじまった。 | NHK徳島放送局でカラーテレビ放送がはじまった。 ごみしようきやく場ができた。 県道鴨島三本松線ができた。 NHK徳島放送局のテレビ放送(白黒)がはじまった。 | 少年の森ができた。 県道鴨島三本松線が、国道三一八号になった。 東京オリピックがおこなわれた。 | 中央公民館ができた。 上水道ができた。 | 工業団地が牛島地区にできた。 清掃センターができた。 少年の森野外活動センターができた。 | 鴨の湯(温泉しせつ)ができた。 町役場のたてもの場所がかわり、新しくなった。 東四国国体ボクシング競技が開催された。 鴨島町中央浄化センターができた。 県道徳島ー鴨島線ができた。 鴨島町文化研修センターができた。 | |

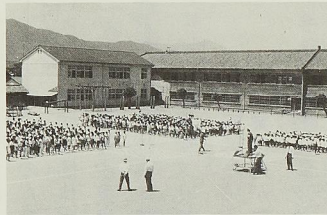
参 考 資 料



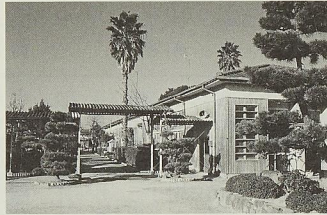
森山小学校 (昭和36年)



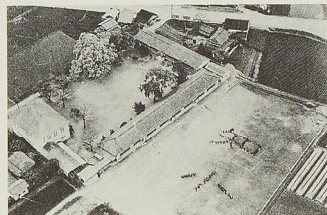
上浦小学校 (昭和50年)



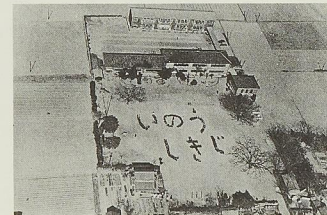
鴨島小学校 (昭和47年)



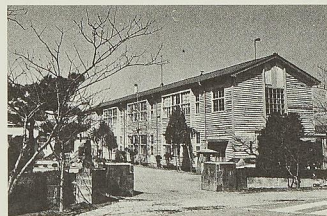
牛島小学校 (昭和47年)



知恵島小学校 (昭和32年)



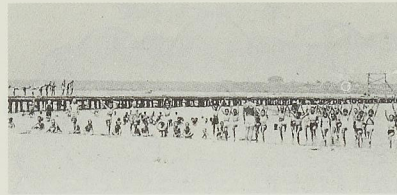
飯尾敷地小学校 (昭和31年)



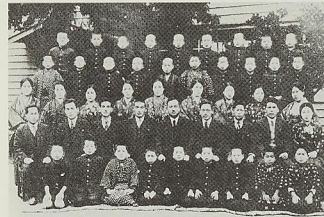
西麻植小学校 (昭和26年)



今の校しゃと
どんなどころが
ちがってるだろう。



水 え い



そつ ぎょう せい しん
卒 業 写 真

今のわたしたちの
学校のようにと
ずいぶんちがって
るわ。



教 科 書

昭 和 5 年 ころ の 学 校

校しゃは木ぞうで、外がわからなめにつっぱりをしていました。時こくを知らせるのは、手でリンをならしていました。あとになってサイレンになりました。ラッパの学校もありました。つくえやいすは二人用の長いものでしたから、どちらか一人がうごくつゆれてふべんでした。

年に4回か5回、校ていで、えいががありました。音楽室で手まわしのちくおんきで、レコードをきくものたのしみでした。





せんそうのあとだったので、学校へげたやぞうりで行きました。体いくの時間は、はだしてしていました。うんどう会の時も、はだして走る人がほとんどでした。たまに「スッポン」をはいている人がいました。冬になるとたびをはきました。上ばさにわらぞうりをつかいました。

ゴムぞうりが売り出された時、水にも強く長もちするので、ゴムぞうりを買ってもらうために家の手つだいをいっしょうけんめいにしました。

昭和20年ころの学校



卒業写真



とうこう
げたで登校



うんどう会



ぞうりづくり



いもづくり

学校ができた年

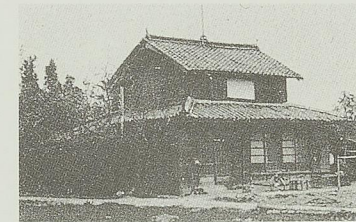
- 上浦小学校 ^{めいし} 明治7年
- 牛島小学校 明治8年
- 森山小学校 明治5年
- 鴨島小学校 明治8年
- 飯尾敷地小学校 明治7年
- 西麻植小学校 明治7年
- 知恵島小学校 明治8年



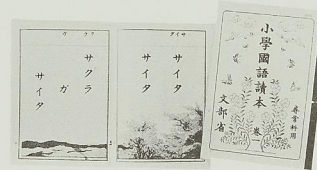
明治27年 卒業写真 (上浦小学校)



明治44年度卒業写真
(森山小学校)



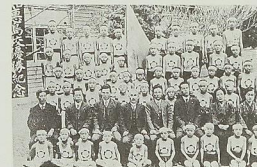
明治8年ころの学校 (牛島小学校)



昭和8年の教科書 (西麻植小学校)



明治～大正ころの石ばんと石ひつ
(飯尾敷地小学校)



郡連合運動会記念写真
(知恵島小学校)



明治のおわりころの女子のゆうぎ
(鴨島小学校)

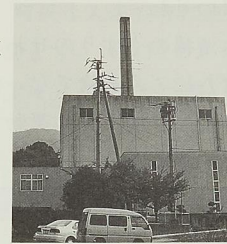
第 4 学 年

1 暮らしの中の水とごみ

1 暮らしとごみ

(1) 使っている車の種類と数

- ごみ収集ダンプ 5台
- バックマスター 4台
- 灰うんぱん車 1台
- パトロール車 1台
- ブルドーザー 1台
- ユンボ 1台
- フォークリフト 1台
- フロン回収車 1台



鴨島町森藤の清掃センター
(町のもえるごみはここに集めてもやす)



バックマスターでごみを集める

(2) もえないごみのしより

もえないごみのうち、びん・かん等の資源ごみは、清掃センターとなりの資源リサイクルセンターで処理・再生されます。

その他のもえないごみは、決められたうめたて地に集め、つぶされて赤土とまぜ、処理されます。



資源リサイクルセンターの選別機と圧縮機

(3) 集めている家の数

町には、およそ8500軒の家があり、ほとんど全部の家のごみ処理をしています。

(4) あとをたたないごみの投げ捨て

ごみを川原などに捨てることは、国のきまりで禁止されています。それでも、こっそり捨てる人がいて、みんなに迷惑をかけています。



圧縮されたアルミかんの固まり



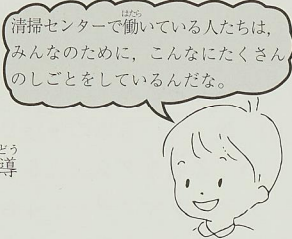
ひどい人がいるのね。
このままだと、川が
死んでしまうわ。



投げ捨てられたごみ

(5) 清掃センターのおもなしごと

- ① ごみ収集と処理
- ② 側溝清掃のせわ
- ③ 床下や下水清掃のくすりのせわ
- ④ 川原や道ばたにごみを捨てない指導
- ⑤ クリーン作戦・リサイクル運動



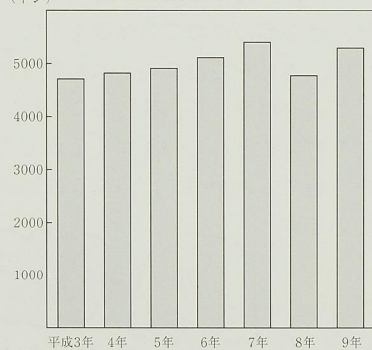
(6) 清掃センターのうつりかわり

| と き | こ と が ら |
|------------|---|
| 昭和29年ごろ | 鴨島地区の中心の商店街だけ、リヤカーで集めて回って、うめ立て地にすていた。 |
| 昭和36年から39年 | 7.5トンの炉ができた。(1トンは1000キログラム) 集める車は1台であったが、のちに2台になった。 |
| 昭和45年 | 20トンの炉ができた。 |
| 昭和47年 | 町全体が集めるようになる。はこからビニルぶくろ集めにかわる。車が4台になる。 |
| 昭和56年 | 車が2トン車5台になる。 |
| 昭和59年 | 18トンの炉が2つできた。 |
| 昭和63年 | 燃えないごみの中から資源ごみ(びん・かん)を分けて集めるようになった。 |
| 平成6年 | 資源ごみの種類ごとに、ビニルぶくろが分けられた。リサイクルセンターが動き出した。 |
| 平成8年 | もえるごみが指定ぶくろになった。 |
| 平成10,11年 | ダイオキシン類対策のための工事に入る |

(7) 清掃センターで使うお金

- 仕事をしている人の給料
- 重油や電気代
- 水道代
- しゅうせん費
- もえないごみの処理に使うお金
- その他
- ◎ 年間約3億円

年間のもえるごみの量 (鴨島町清掃センター)



(8) ごみの量 (1年間)

● もえるごみ

約5,300トンぐらいです。町民1人あたりに直すと、約200キログラムも捨てていることになります。(清掃センターでは、1日に平均26トンぐらい処理しています。)

● もえないごみ

資源ごみが約550トンぐらいです。その他のごみが約530トンぐらいです。1人あたりに直すと、1人が約42キログラムも捨てていることになります。

(9) ごみの収集日

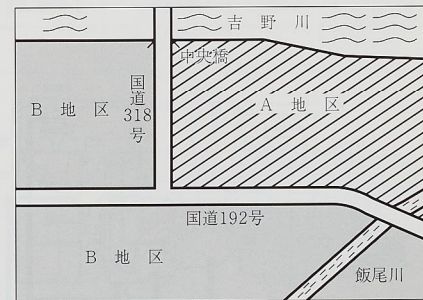
| 種類 | 地区 | A 地区 | B 地区 |
|------------|----|------|------|
| もえるごみ | | 月・木 | 火・金 |
| 資源ごみ | | 第1水 | 第2水 |
| その他のもえないごみ | | 第3水 | 第4水 |

わたしたちもごみ収集に協力しましょう。

ごみは決められた日に、決められた場所に分類して、かためて出しましょう。



ようじや串を出すときは、あぶないから、先を折って、新聞紙に包んで出してくださいね。



ごみ収集の地区わり

(10) これからの問題

もえるごみは、1日に36トンの処理ができるので、しばらくは、だいじょうぶですが、もえないごみの処理場が少なくなっています。どの町村でも、この問題には困っています。

また、ダイオキシン類対策として^{るいたいさく} 燃焼炉^{ねんしょうろ}の大改修^{かいしゅう}を平成11年度末までに行い、^{ゆうがいぶつ} 有害物質を出さないよう取り組んでいかなければなりません。

(II) 清掃センターのようす

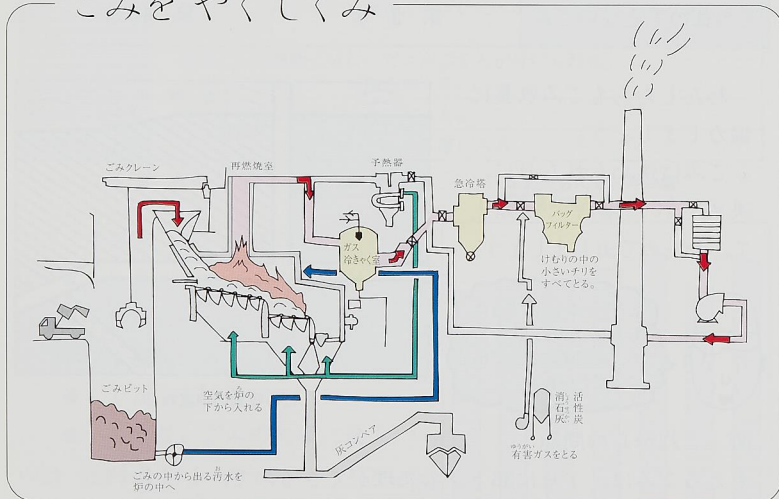
清掃センターは自動化されています。

管理室では、テレビ画面を見ながら、ボタン1つで、自動的にいろいろな機械を動かして作業が行われています。



清掃センターの管理室のようす

ごみをやくしくみ



2 水はどこから

(1) 水の使われ方

わたしたちは、ふだんにげなく水を使っていますが、水は毎日の生活になくてはならない大切なものです。

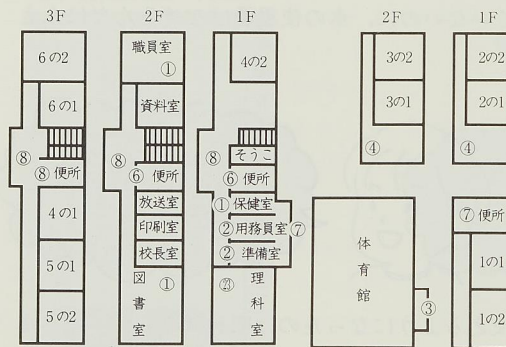
毎日のくらしの中で、水はどのように使われているのでしょうか。



- 家庭では
- 学校では
- 町の中では

家庭や学校の水道のじゃロの数や水の^{しようりょう} 使用量を調べてみましょう。

| | 使用人数 | じゃロ | 1ヵ月使用量 | 1日あたりの使用量 | 1人1日あたりの使用量 | 8ℓ入りのバケツで |
|--------|------|-----|-----------|-----------|-------------|-----------|
| A 小学校 | 335 | 99 | 242,000 ℓ | 8,067 ℓ | 24 ℓ | 3い分 |
| B 先生の家 | 4 | 5 | 28,000 ℓ | 933 ℓ | 233 ℓ | 29い分 |
| わたしの家 | | | | | | |



学校には、たくさんじゃロがあるんだね！

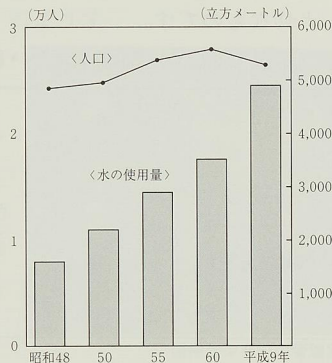


ある小学校の水道のじゃロ調べ (○の中の数がじゃロの数)

(2) 見える水の使用量



町の人口は、あまりふえていないな。



町の人口と1日あたりの水の使用量 (鴨島町水道課)

でも、水の使用量はずいぶんふえているわ。



わたしたちは、1日にどのくらいの水を使っているのでしょうか。
 鴨島町の平成9年度の資料によると、1日あたり約4900立方メートルの水を使っており、これは25メートルプールの約20ばい分にあたります。昭和48年度と比べてみると、約3倍にもなっていることがわかります。
 人口は、そんなにふえていないのに、水の使用量はなぜそんなにふえてきたのか考えましょう。

25メートルプールの容積は250立方メートルでした。(25×10×1)



どんなことに、たくさん水は使われているのかよく考えてみよう。

鴨島町全体で上水道が使えるようになったのは昭和50年です。上水道を使う家庭はこの年から約2倍になりました。

(3) 水はどこから

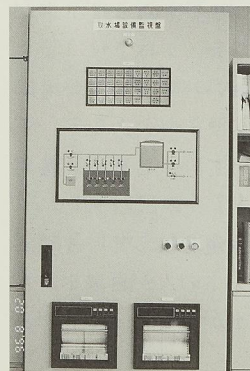
わたしたちの使っている水道の水は、どこからどのように送られてくるのでしょうか。

わたしたちの家の水道水は、地下水です。鴨島町役場の東に、直径6メートル、深さ21メートルのいどをほり、そこから地下水をくみ上げて、塩素消毒をします。消毒された水は配水池に送られ、そこから各家庭に送られるのです。

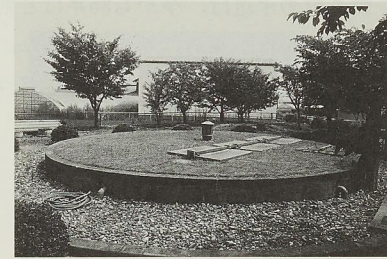
こうした水の流れや、各しせつの管理をしているのが、水道課にある取水場設備監視盤です。

鴨島町は、吉野川が近く、水がゆたかです。水質がよいので自分の家でいどをほり、地下水を使っている家庭もあります。

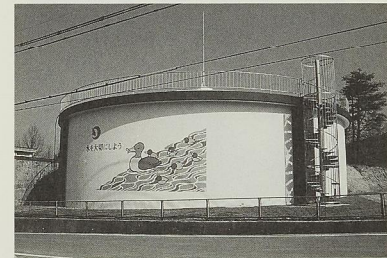
取水場設備監視盤 (水道課)



水源地
地下水取水場 (鴨島)



配水池 (萩藤)



自然流下により配水管へ

各家庭へ送られる

水道がひかれる前は、どうしていたのかな？



(4) 町の水道のあゆみ

鴨島町の水道は、今から35年ほど前の昭和39年に、上浦地区のかんい水道工事を行った時に始まりました。それまでは、自家用ポンプなどを使って、家庭のいどから水をくみ取っていました。

その後、昭和40年に森山地区、昭和41年に西尾地区、昭和42年に牛島地区にかんい水道ができました。

生活の様子が変化して、水をたくさん使うようになると、問題が出てきました。かんい水道では、1軒の家に水道せんを1つしかつけることができなかつたのです。人々は、もっとたくさん、水を使いたいと思うようになりました。

そこで、町は昭和46年から4年間、4億8500万円をかけて、水道工事をおこないました。

この工事は、それまで水道のなかつた鴨島地区、知恵島地区に水道を作り、また、各地区にあつたかんい水道のパイプをつなぐ工事でした。こうして、町全体の水道工事が完成しました。

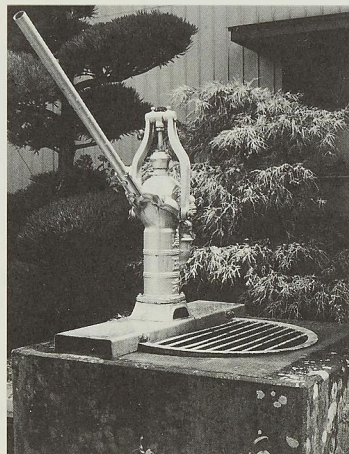
現在でも古いパイプを新しいものにかえたり、細いパイプを太いものにかえたりする工事をたえずおこなっています。

また、新しくできている店ばや住宅へ水道を広げていくことも、毎年おこなっています。

現在では、町全体の約94パーセントの人が町の水道を使っています。

鴨島町では地下水がゆたかなので、約6パーセントの人が自家水道だけを使っています。環境の悪化がすすめば、地下水がよごれる心配があるので、定期的に検査をすることが大切です。

手おしポンプ



(5) 使った水のゆくえ

鴨島町では下水のゆくえはどのようになっているのでしょうか。

大部分は右の写真のようにはい水管を通して川へ流されています。

下水をきれいにしないで、そのまま川へ水を流すと、川にゴミがうかび、いやなおいをだし、ハエやカなどの害虫の発生のもとになり、魚などの生物もすめなくなつてしまいます。

町では、昭和52年より平成20年の完成を目ざし、下水道の工事が行われています。

現在までに、幹線の工事はほぼ完成しており、枝線の工事が進められています。

鴨島町の下水道は分流式といひ、雨水を流す管と、汚水を流す管に分かれています。右の写真は側この横に汚水を流す管をうめこんでいる所です。

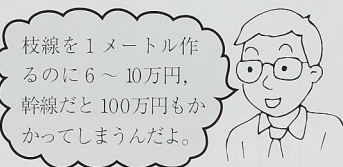
汚水をきれいにする処理場が平成4年に完成しました。名前を鴨島町中央浄化センターといひます。



はい水管から川へ流れている生活はい水



下水管のうめこみ工事

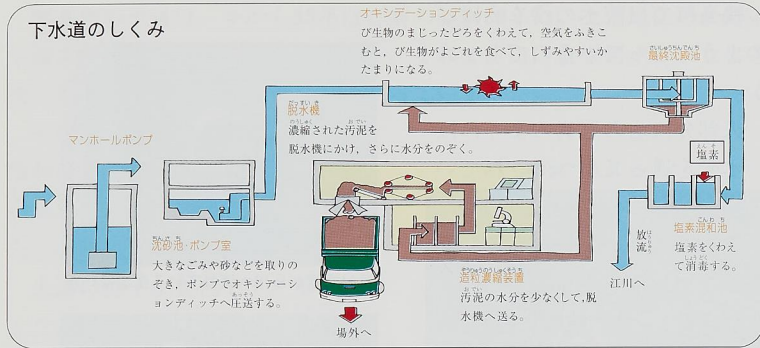


枝線を1メートル作るのに6～10万円、幹線だと100万円もかかってしまうんだよ。

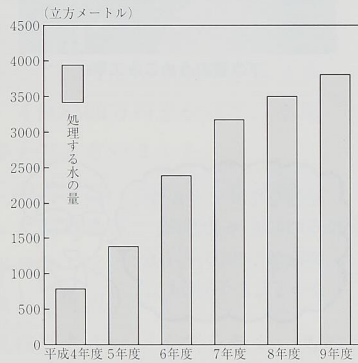


鴨島町中央浄化センター (喜来)

(6) 中央浄化センターについて



中央浄化センターで1日に処理する水の量 (中央浄化センター)



脱水機によってしぼられた汚泥(脱水ケーキ)



最終沈澱池

下水は、上の図のようなしくみで、約24~30時間かかってきれいにされ、江川へ流されます。

下水をしょりしたときにできたどろは、ひ料をつくる会社に引きとってもらって、そこでひ料になります。下水をしょりしたときにできた水の一部は、平成8年の秋から、浄化センターの機械を洗ったり、しばふの散水に利用するようになりました。

② 安全なくらし

1 火事をふせぐ

(1) 学校の消防しせつ

学校などのたくさんの人が集まる場所には、防火や消火のために、どなどころに、どんなしせつがあるのでしょうか。

学校をまわって調べてみましょう。

① 種類とはたらき

学校などには、人がいない時に火事がおきた場合、自動的に非常ベルを鳴らして知らせる機器(自動火災報知設備)があります。

また、火事を見つけた人がボタンを押して非常ベルを鳴らす発信機もあります。

どこにあるのか調べてみようよ。



受信機



熱感知器



避難口誘導灯



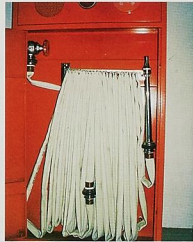
煙感知器



発信機 (押しボタン)



通路誘導灯



屋内消火せんとはース



消火器



防火とびら



防火水そう（プール）



非常階段の標示



非常階段

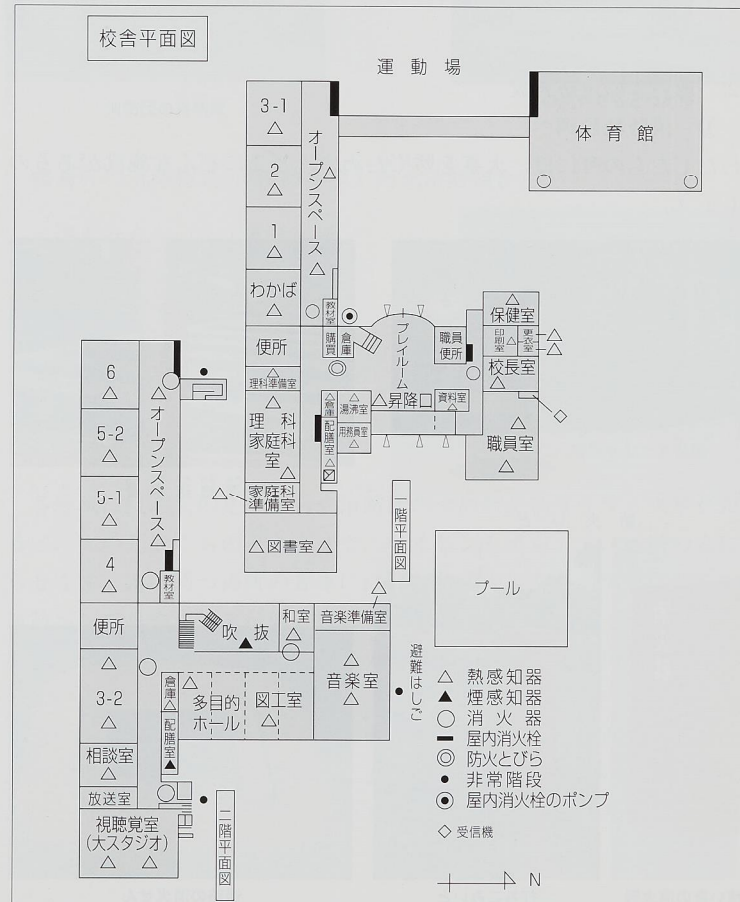
| 種類 | はたらき | 場所 | 数 |
|--------|---------------------|----|---|
| 熱感知器 | 熱を感じて非常ベルを鳴らす。 | | |
| 煙感知器 | けむりを感じて非常ベルを鳴らす。 | | |
| 消火器 | 粉末などで消火する。燃え初めに使う。 | | |
| 屋内消火せん | ホースをつなぐ。せんを開くと水が出る。 | | |
| 防火とびら | 燃え広がるのを防ぐ。 | | |
| 非常階段 | ひなんするための階段。 | | |
| 防火水そう | 火事に備えて水をためておく。 | | |

〈学校の消防施設〉

自分たちの学校とくらべてみましょう。
 どんなところに、どんなものがあるか調べたり、
 そのわけを考えたりしましょう。



そこに、どうしてあるのかも考えてね。



学校の消防施設は、次のようになかま分けすることができます。

〈消防施設のなかま分け〉

- ① 火事をしらせるためのもの
- ② 火を消すためのもの
- ③ 火事が広がるを防ぐためのもの
- ④ 避難するためのもの

(2) 地いきの消防施設

① 消防施設調べ

わたしたちの町には、火事を防ぐために、どこにどんな施設があるのでしょうか。



防火いど



連結送水管



地いきの消火器



打ちこみいど



道路の消火せん



消防団の格納庫



火の見やぐらとつめ所

鴨島町の消防施設 (『消防年報』阿北消防組合)

| | |
|-------|-------|
| 消火せん | 157カ所 |
| 防火水そう | 30カ所 |
| 防火いど | 180カ所 |
| 川・池 | 49カ所 |
| プール | 10カ所 |
| その他 | 5カ所 |



ひなん場所をしめす標識

各地域には、火の見やぐらや消防団のつめ所があります。火事がおこると、火の見やぐらの半しょうや、サイレンを鳴らして、近所の人に知らせます。消防団つめ所の倉庫には、消防団の人たちが火を消すための消防ポンプ車やホースが備えられています。

消火に使う水は、消火せん、防火水そう、防火いど、川などからとります。

消火せんは、道路や広場などに備えられています。消火せんはふたのまわりに黄色いペンキをぬって、よく目立つようになっています。消火せんは、太い水道管につながっていて、火事を消すための大量の水が取り出せるようになっています。

(4) 消防署からのおねがい

鴨島町内でも平成9年の1年間に12件の火事が起こっています。火の取り扱いに注意し、後しまつをきちんとしましょう。

※119番に電話するときには！

〈火事を知らせるとき〉

- 何かもえているのか、火事がおきている場所の所・番地や、近くにある目じるしになるものをはっきりと言う。
- 119番通報をしている人の名前と電話番号をはっきりと言う。

〈救急のとき〉

- 場所(所・番地)や、近くの目じるしになるものをはっきりと言う。
- 病気やけがのようす(交通事故？病気？人数？)をはっきりと言う。
- 119番をしている人の名前と住所をはっきりと言う。

子どもだけでたき火をしたり、せまい場所で花火をしたりしないように注意してください。また、(大人の人には)消防自動車や救急車のサイレンを聞いたときは、自動車は道路の左側によって、消防自動車や救急車が走りやすくするというルールを守り消防署の活動に協力してほしいと考えています。



救急車



はしご車



タンク車



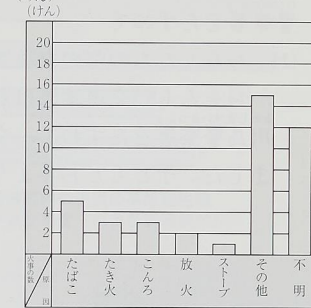
救助工作車

阿北消防署の地域内でおこる火事のおもな原因は右の表のとおりです。



レスキュー隊の訓練

(けん) (麻植郡, 阿波郡, 吉野町, 土成町)



火事をおこしたおもな原因
(平成9年 阿北消防本部調べ)

火事をおこさないようにするための心がまえやそなえについて、きみたちも話し合ってみましょう。



救助活動



消防訓練

人間の命を守ることが一番大切ですから、人命きゅうじょの訓練も毎日おこなっています。近ごろは、高いたてものが多いのできげんな訓練もします。また、火事だけではなく、大水が出たときも、出動するようになっています。



消防きゅうじょたいの人

2 交通事故をふせぐ 警察署をたずねて

(1) わたしたちの町の交通事故

おそろしい交通事故はわたしたちの住む町でもおこっています。
川島警察署をたずねて、交通事故の数や原因について教えてもらいました。子どもとお年よりの交通事故が多いのおどろきました。



川島警察署

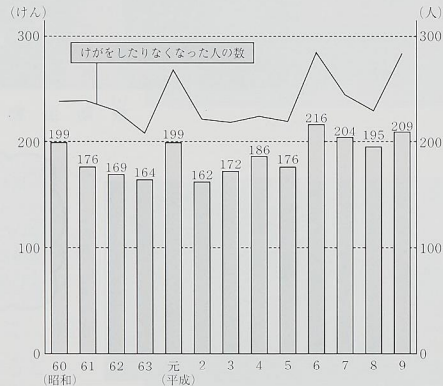


鴨島町交番

麻植郡内での交通事故

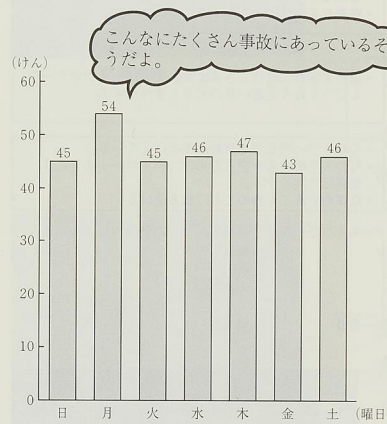
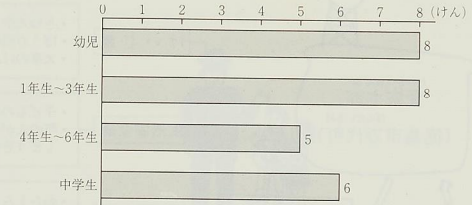
| 年 | けん数 (けん) | 死者 (人) | けが人 (人) |
|-------|----------|--------|---------|
| 昭和60年 | 341 | 8 | 416 |
| 61年 | 297 | 6 | 374 |
| 62年 | 295 | 7 | 402 |
| 63年 | 283 | 3 | 378 |
| 平成元年 | 320 | 10 | 411 |
| 2年 | 263 | 8 | 345 |
| 3年 | 277 | 4 | 358 |
| 4年 | 313 | 7 | 373 |
| 5年 | 307 | 8 | 381 |
| 6年 | 338 | 4 | 415 |
| 7年 | 321 | 6 | 388 |
| 8年 | 309 | 6 | 360 |
| 9年 | 326 | 10 | 415 |

麻植郡内の交通事故のけん数と死者けが人の数
(川島警察署調べ)



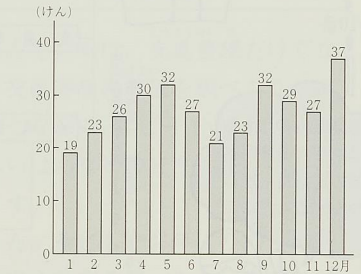
鴨島町でおこった交通事故のけん数とけがをしたり、なくなった人のうつつりかわり
(川島警察署調べ)

| (平成9年) | 徳島 | 全国 |
|--------|--------|----------|
| なくなった人 | 100人 | 9,640人 |
| けがをした人 | 7,347人 | 958,925人 |



麻植郡曜日別の事故発生数
(平成9年度 川島警察署調べ)

麻植郡内の子供の事故発生数
(平成9年度 川島警察署調べ)



麻植郡月別の事故発生数
(平成9年度 川島警察署調べ)

小学生の交通事故は、一週間のうちでは、土曜日と日曜日が多く、一日のうちでは、午後2時から5時が多いそうです。

子どもの事故のけんいんは

1. とび出し
2. 安全かくにんがたりないことが多いそうだよ。

気をつけようね!



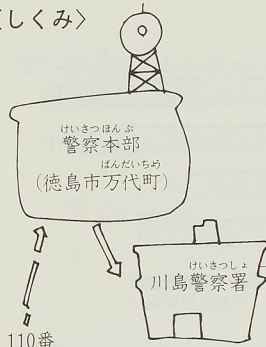
〈はたらき〉

- 1秒をあらそって仕事をしている。
- 自分自身の命があぶないときもある。
- 仕事がま夜中までつづくこともある。
- いつでもすぐ活動できるようにしている。
- 事件や事故がおこらないように、ふだんから力をそそいでいる。

◎県のけいさつ本部、各けいさつしょ、役場などいっしょにれんらくを取り合い協力して明るい住みよい町づくりに、努力やくふうをしている。

(2) 警察署のはたらき
警察署のしくみどはたらきについて聞きました。
次のようなことがわかりました。

〈しくみ〉



110番

徳島県内の110番は、ぜんぶ警察本部の通信指令室につながるんだよ。



警察をたずねて来た人にもていねいに対応します。

パトカーにむ線でらんらくをしています。

※川島警察署と向いような警察署は徳島県内に15あるよ。

けいじ課

- ・まつやごうどうなどのはんざいのそうさをする。
- ・ぼうか団のとりしまりをする。
- ・火事のげんいんも消ぼうしの人と調べる。

生活安全課

- ・子どもの非行をふせぐ。
- ・町の人がいるいろははんざいのひ害にあわないようにしどうをする。

けいび課

- ・わたしたちの安全をおびやかすはんざいのとりしまり。
- ・台風などのさい害のときの救助活動をする。
- ・重要な人物のけいごをする。

交通課

- ・道路を安全に通行できるように交通ルールやマナーをしどうしたり交通い反のとりしまりをする。

地域課

- ・ちゅうざい所などを活動の中心にしている。
- ・町の人々の安全を守るために、パトロールをしたり、家庭ほう問をする。
- ・道案内や落とし物のとどけ出も受ける。

ちゅうざい所 川島町…2 (川島署内に1つある)
鴨島町…4
山川町…4
美郷村…1

こうばん交番 鴨島町…1



パトロールするパトカー



(3) 交通事故のない町に



交通整理をする



安全な運転をよびかける



交通安全教室



けいさつのおじさんの話

わたしたちは、^{こうつうせいり}交通整理だけでなく、^{げんいん}交通事故の原因を調べたり、事故につながる、スピードいはん、ちゅう車いはんなどのとりしまりもしています。

また、子どもやお年よりのための交通安全教室を開いたり、春や秋に交通安全をよびかける^{うんどう}運動をしたりもします。

^{こうつうあんぜんきょうかい}交通安全協会やボランティアの人たちとの協力はとくに大切です。安全のためのしせつをどのようにつくったらいかなど、交通事故をふせぐための話し合いをしています。



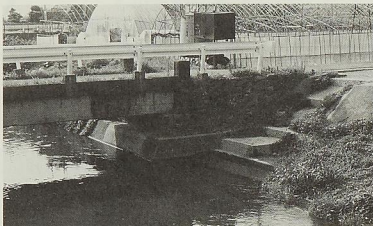
警察署の仕事は^{ちいき}地域の人の安全なくらしと深くむすびついでいることがわかりました。

わたしたちも、交通ルールを守って、交通事故をなくしていくことが、何より大切なことだと思います。

3 用水をひく（麻名用水）^{あき な ようすい}

わたしたちの町を、用水が流れているのを知っていますか。西どりの川島町から東どりの石井町までつづいているのが、徳島県でもたいへん長い「麻名用水」です。

麻名用水の名前は麻植郡^{あき ぐん}の麻と名西郡^{あき みうざいぐん}の名をとってつけられました。



あらい場 今でも野さいなどをあらうときもあります



コンクリートでかためられた用水

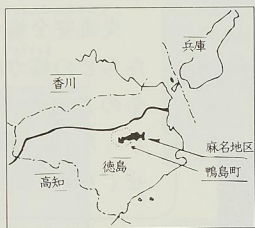


あらい場では野さいや農具をあらったり、せんたくもしたな。



わしら子どものころは用水で泳いだり、魚をとったりしてええ遊び場じゃったのう。

むかしの用水は今のよう
にコンクリートじゃのう
て石がきや土をつみあげ
た土手じゃった。



夏にはホタルがいっぱいいて、ようホタルがりをしたもんじゃ。

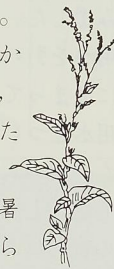


この用水は、水田を開き、米をつくりたいとねがったむかしの人たちが、苦勞の末、作り上げたもので、わたしたちの町の農業になくてはならないものです。

1 用水ができるまで

(1) むかしの農業

むかし阿波の国（今の徳島県）のどのさまは、きものをそめる藍^{あい}を畑で作るようにすすめていました。鴨島町も、畑にはほとんど藍を植え、藍玉^{あいたま}（藍の葉のかたまり）を、全国に売り出していました。そのころのきものは、草や木の色でそめていましたが、なかなかよい色が出ませんでした。それで、美しい色にそまり、洗っても色が落ちない藍は、ひょうばんがよく、よく売れたのです。



畑には、日でりにそなえて、いどがほられていました。暑い夏に、いどから水をくみ上げ畑にまくのは、たいへんつらい仕事でした。その上、日でりが続くと、水が足りなくなり

農作物に害が出ることもよくありました。

そのため、用水を引くことを計画した人もありました。しかし、藍でない作物を作るようになってはこまると考えたどのさまは、その計画をみとめず、その時は用水は作れませんでした。



藍を作っている畑

ところが、明治になると、外国から

安い藍がはいってくるようになり、徳島の藍玉は少しずつ売れなくなりました。そして今から90年ぐらい前には、安い化学せん料が外国で発明され、日本でも使われるようになりました。そのため、今まで藍作りでくらしてきたたくさんの農家は、たいへんこまりました。



むかしの農業のうつりかわりと用水ができるまでのことを考えてみよう。

(2) 用水路づくり

藍づくりでくられなくなった人たちは、^{くわ}桑・^{りくとう}野さい・^{りくとう}陸稻・^{りくとう}まめなどをつくって見ました。しかし、しゅう入は安定せず、くらしも楽にはなりませんでした。明治37年には、たいへんな日でりがあり、水不足に苦しみました。

用水を引いてお米を作り、くらしをよくしたいというねがいが、しだいに高まってきました。

用水をつくることについて、近くの村の人たちが話し合いました。しかし、なかなか一つの計画にまとまりませんでした。広い地いきに用水を引くためには、たくさんのお金がかかります。また、水はどこから引くか、用水路はどこを通らせるのか、いろいろな問題があったのです。

このとき、計画をまとめ、中心になってがんばったのが、^{みょうさい}名西の^{ぐんちやう}郡長（^{むかし}むかしあった^{ぐん}郡の^{やくしょ}役所の長）になった^{いんない}井内^{たろう}恭太郎という人です。

井内さんは、それまでも^{かいふ}海部・^{おえ}麻植・^{みま}美馬で郡長をつとめ、多くの土木工事を成ささせてきた人でした。

用水路づくりに反対する人たちから、おどされたり、らんぼうをうけるようなこともありました。みんなをまとめ、話し合いをすすめました。

明治38年、やっと川島町の城山の西、岩の鼻から吉野川の水を引く計画がまとまりました。

| 用 水 工 事 の 年 表 | |
|------------------|--|
| 1899年 (明治32年) | • 用水をつくる計画がでてくる。 |
| 1905年 (明治38年) | • 用水をつくる計画とそのため <small>すい</small> の水 <small>すい</small> 利組合 <small>りくご</small> ができる。測量はじまる。 |
| 1908年 (明治41年) | • 用水の本線ができあがる。 |
| 1912年 (大正1年) | • 初めて水を流す。 |
| 1912年 (大正1年) | • 用水の支線工事が終わる。 (ひととおりできあがる。) |
| 1934年 (昭和9年) | • 井内恭太郎さんの銅像がたつ。 |
| 1940年 (昭和15年) | • 県がコンクリートほそう工事にかる。 |
| 1953年 (昭和28年) | • 県が用水路のかく夫としゅうりをする。 |



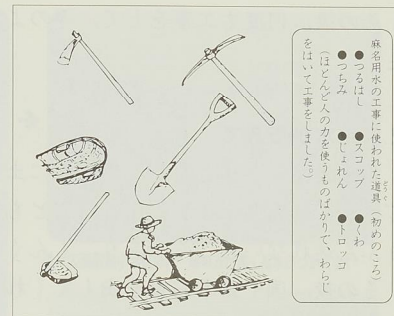
井内恭太郎氏



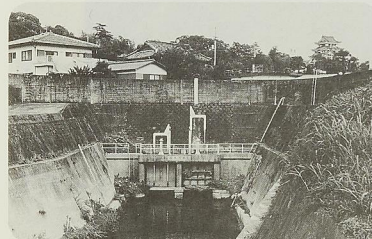
麻名用水土地改良区にある井内恭太郎氏の像

(3) 麻名用水のたんじょう

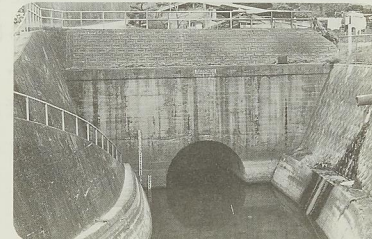
明治38年(1905年)、鴨島町の森山、牛島、上浦や石井町の畑に水を引くため、用水路づくりのそくりょうがはじまりました。よく年、工事に取りかかりました。



麻名用水の工事に使われた道具
 ●つるはし ●スコップ ●くわ ●はし ●じれん ●トロッコ ●はいて工事をしました。



吉野川からの取り入れ口（うしろは城山） → 岩を400mくりぬいたトンネルの出口

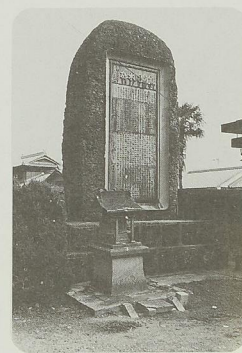


水の取り入れ口は川島町の城山の西にあります。城山の下を通るため岩をくりぬいたトンネルをほりました。岩をくりぬくためダイナマイトを使ってのたいへんな工事でした。たくさんの方がけがをしたり、なくなったりしました。

用水路は、両がわに土をもり上げたかんたんなものでしたが、たくさんのお金と日数がかかりました。



幹線水路（底は5m）



川島の取り入れ口近くにある碑（用水のできるまでが書かれている）

全長26キロメートルの用水の本線ができたのは明治41年（1908年）のことでした。そして、その年の5月1日に、初めて水が流れたのです。

その後、何度も工事をして、今のようになりっぱな麻名用水となりました。

2 用水ができて

用水路はできましたが、両がわに土をもってつくったため、どちゅうで水がもれたり土手がくずれることもありました。そのため、水がじゅうぶん送れないところがあり、もんくが出たりしました。

その後、国や県もお金を出してくれるようになったので、コンクリートで両がわをかためることにしました。昭和15年から4回にわたって工事がおこなわれ、いまのようになりっぱな用水ができあがりました。

いま、鴨島町では、牛島・森山・上浦地区を中心に、982けんの農家が麻名用水を利用しています。吉野川の水がゆたかなため、水がかかることもなく、米づくりや野菜づくりなどに大いに役だっています。

用水路を全部つなぎ合わせると、長さ200キロメートルをこえる県下でも大きな用水の一つです。

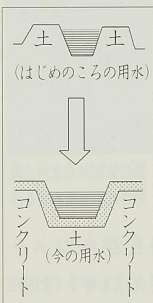


飯尾敷地小学校の北で、二つにわかれている用水



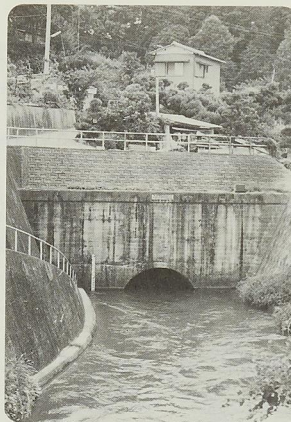
P 81～82の地図と
見くらべてみようね。

現在
水を送っている田畑の広さ
一、一四〇ヘクタール
農家の数 三、二九三
一ヘクタールとは
一万平方メートルの広さです



用水路をよこから見た図

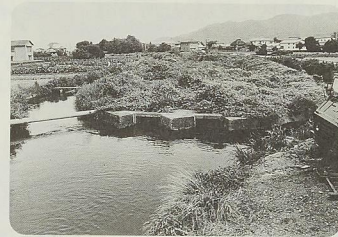
資料 用水の流れ



①城山の東・出口



②西麻種小学校の南・畑の方が高く用水がつかえない



③飯尾敷地小学校の北・ここで二つにわかれる

南部幹線

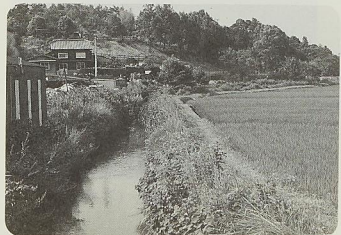


④森山小学校の南・用水の利用さかん↓

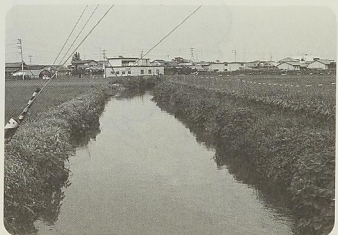
北部幹線



⑥国道をわたって麻植塚へ



⑤向麻山のすずをって上浦へ



⑦水田の広がる牛島へ

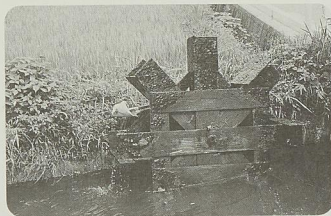
3 これからの麻名用水

お米を作り、くらしをよくしたいという人びとのねがいで、長い間苦勞を重ね、麻名用水はつくられました。毎年、5月から9月まで水は流れ、田畑をうるおし、町の農業にはなくてはならないものになっています。

農家の人たちは、毎年、お金を出しあって用水をまもったり、なおしたりしています。そのおせわをしているのが、石井町にある「麻名用水土地改良区」のじむ所です。ここには、井内恭太郎さんの銅像もたっています。

このごろ、ごみや家庭から出るはい水が流され、水がよごされたり、かり取られた草や木がなげこまれ、流れがさまたげられたりしてこまることがあります。

用水をつくるために、苦勞をした人たちへの感しゃの気持ち^{わす}を忘れず、用水をどのようにつかい、どのようにまもっていくか、大きな責任^{せきにん}がわたしたちにはあるのです。



こんな水車もまわっている（森山地区）



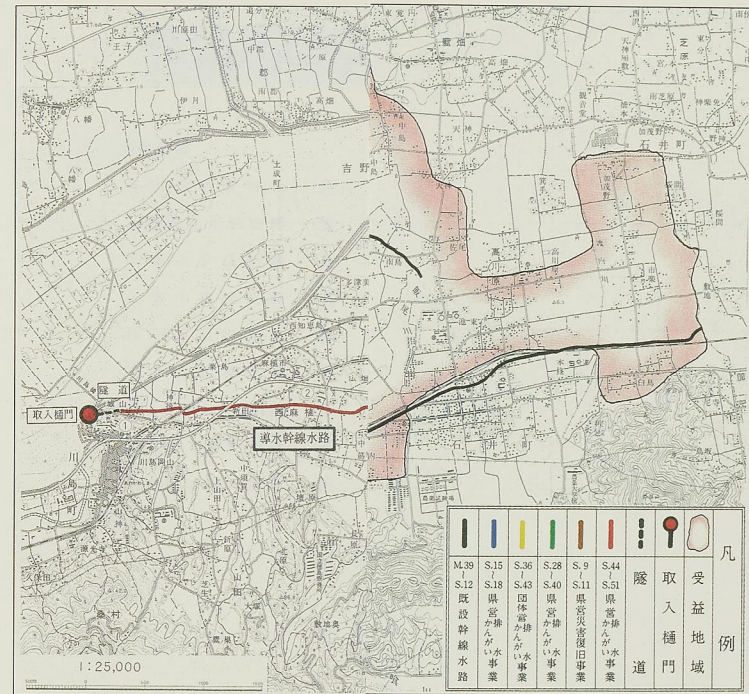
あみ目のようにはしる小さな水路（石井町）



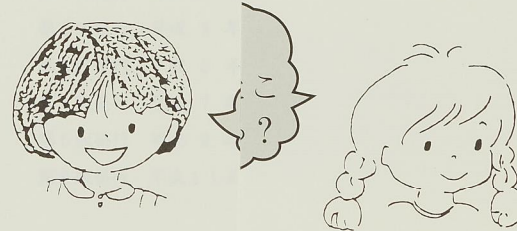
ぼくたちの用水を大切にまもっていこうね。



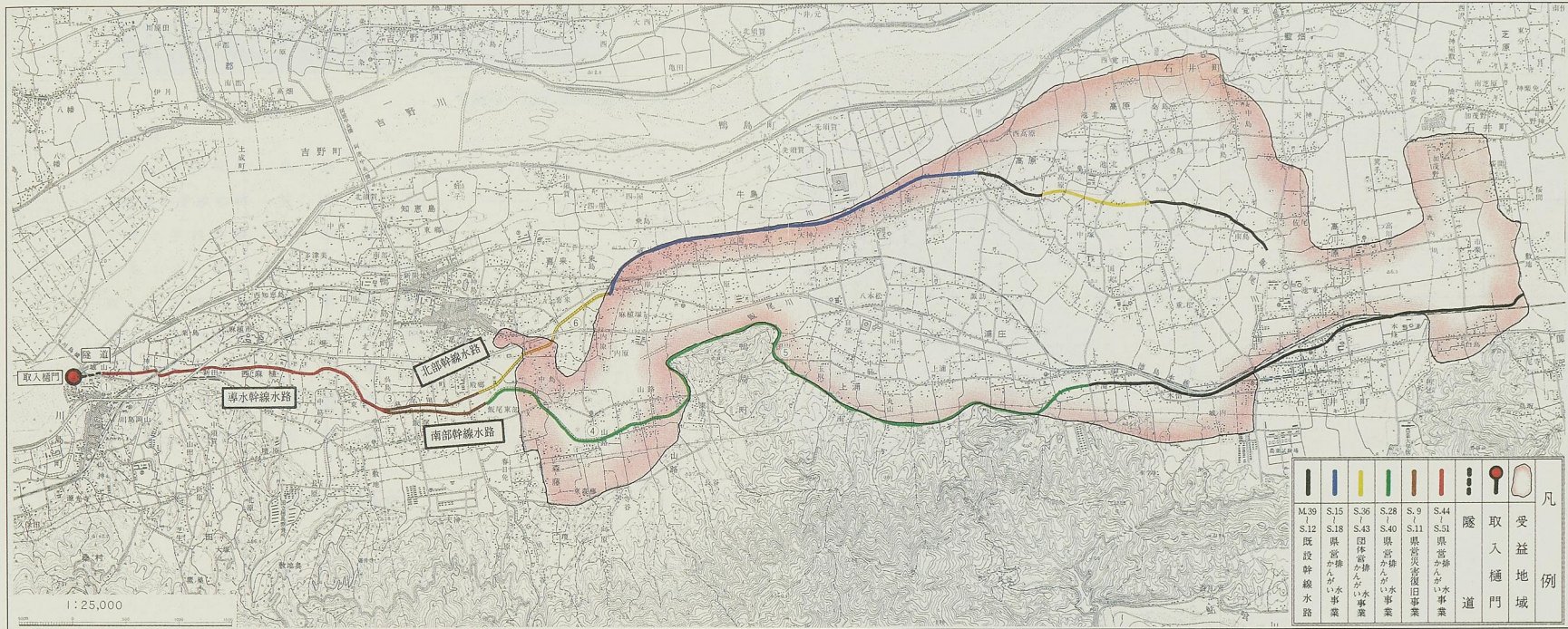
麻名用水土地改良区（石井町）



用水をひく畠村・高川原村



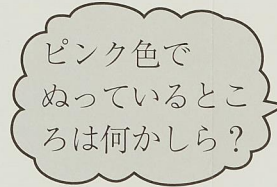
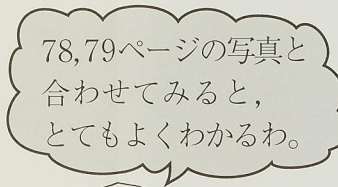
資料 麻名用水の流れているところ



用水をひくのにさんかしたそのころの村 ○麻植郡-森山村・牛島村 ○名西郡-浦庄村・石井村・高原村・高川原村



一度「用水たんけん」
をしてみたいね。



鴨島町小学校社会科資料
「わたしたちのまち 鴨島」 (3年生・4年生用)

平成11・12年度用改訂

改訂編集委員

| | |
|-----------|------|
| 森山小学校校長 | 喜島一博 |
| 知恵島小学校教頭 | 笠江俊文 |
| 上浦小学校教諭 | 石原鈴子 |
| 牛島小学校教諭 | 前野哲也 |
| 森山小学校教諭 | 島勝静子 |
| 鴨島小学校教諭 | 栗洲敬司 |
| 飯尾敷地小学校教諭 | 石原秀昭 |
| 西麻植小学校教諭 | 伊藤昭仁 |
| 知恵島小学校教諭 | 阿部敏和 |

さし絵

————— 前坂美由紀

題字

————— 新居藍州

発行 鴨島町教育委員会 麻植郡鴨島町鴨島115番地

第1版発行 昭和63年4月1日

第2版発行 平成3年4月1日

第3版発行 平成5年4月1日

第4版発行 平成7年4月1日

第5版発行 平成9年4月1日

第6版発行 平成11年4月1日 印刷所——(株)教育出版センター

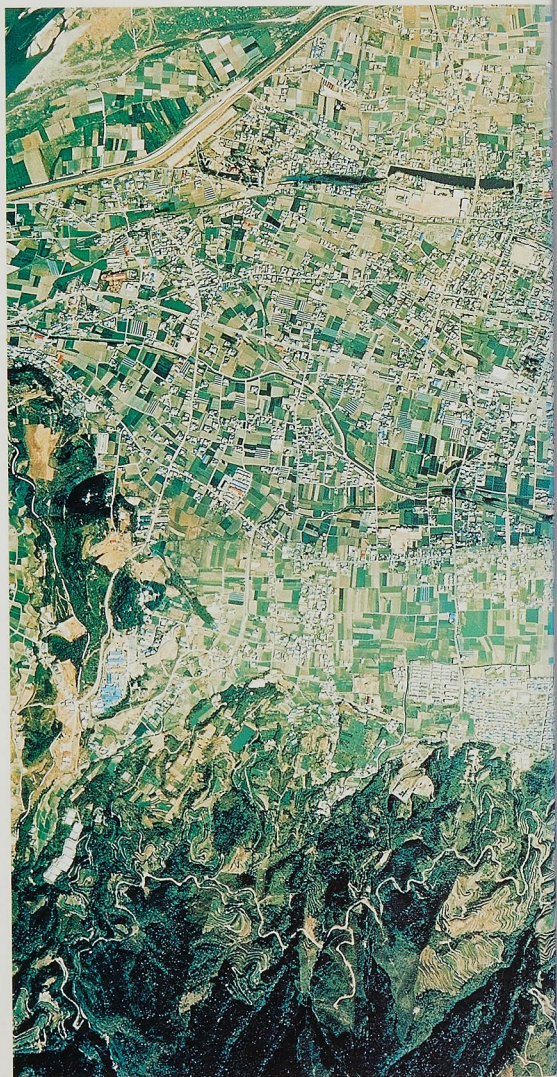
TABLE I

| Year | 1950 | 1951 | 1952 | 1953 | 1954 | 1955 | 1956 | 1957 | 1958 | 1959 | 1960 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

APPENDIX

- ...
- ...
- ...
- ...
- ...

...



名前

小学校

43
年年

組組